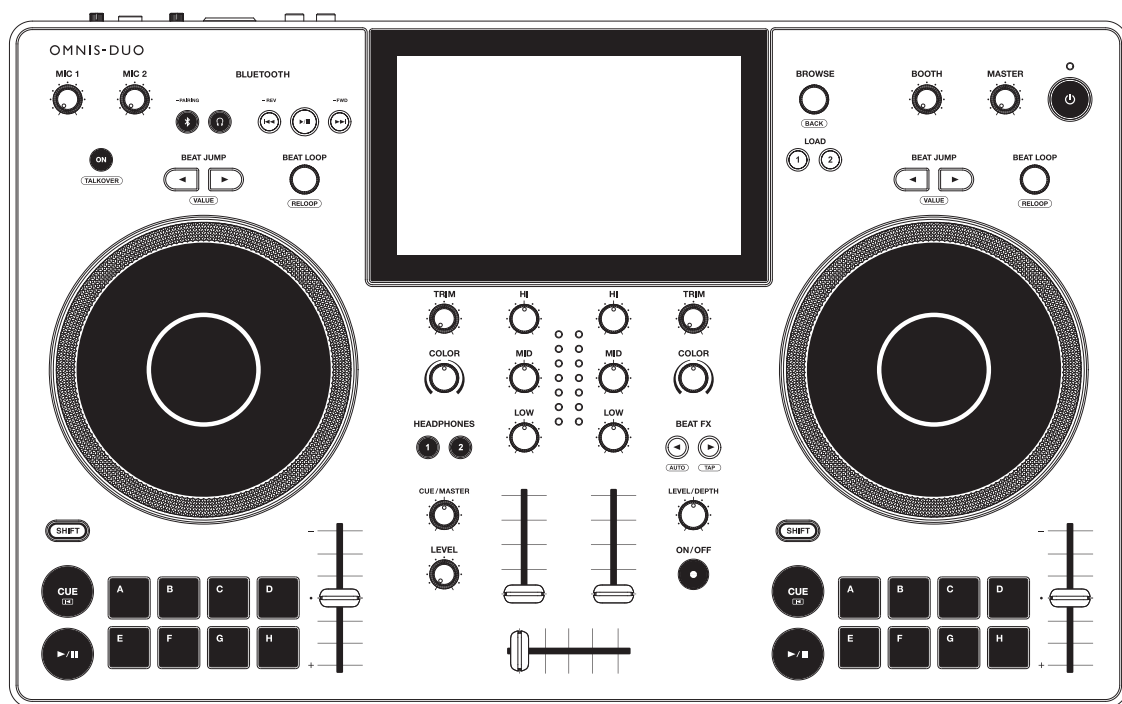


取扱説明書



オールインワンDJシステム

OMNIS-DUO

alphatheta.com/support/Japan/

rekordbox.com

上記のサイトで、本製品の最新のソフトウェア情報やFAQなどのサポート情報をご覧ください。

もくじ

はじめに	7
本書の見かた	7
付属品を確認する	7
マニュアルを閲覧する	8
安全上のご注意	8
本機を廃棄する	9
本機の概要	10
本機の充電	10
システム概要	12
rekordbox for Mac/Windows	16
rekordbox for iOS/Android	18
PRO DJ LINK	19
rekordbox CloudDirectPlay	19
PC/Mac の準備	20
設定ユーティリティを使う	23
各部の名称	26
コントロールパネル	26
本体フロント部	27
本体リア部	28
本体表示部	29
接続（基本スタイル）	38
PRO DJ LINK 接続	38
rekordbox CloudDirectPlay	40
メディアの挿入と取り外し	41
SD メモリーカード	41
USB ストレージデバイス	42

選曲	43
ブラウズセクション	43
ソースを選択する	43
トラックを選択する	44
トラックを探す	44
ロードする前に音声を確認する (TOUCH Preview)	47
トラックをロードする	48
HISTORY を使う	49
タグリストを使う	50
プレイリスト画面を表示する	53
再生	55
デッキセクション	55
再生 / 一時停止する	56
全体波形上の触れた位置から再生する	56
スリップモード	57
再生速度を調整する (テンポコントロール)	57
音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)	58
録音	59
録音しながらトラックを分割する	60
ジョグの操作	61
操作モードを切り替える	61
ジョグを操作する	62
再生と停止の速度を調整する (VINYL モード)	62
キュー	64
キューポイントを設定する	64
キューポイントに戻る	64
キューポイントを確認する (キューポイントサンプラー)	65
キューポイントを保存する	65
保存したキューポイントを呼び出す	66

保存したキューポイントを削除する	66
オートキューを設定する	67
ループ	68
ループを設定する	68
ループの長さを調整する	68
アクティブループを使う	69
ループ再生を解除する	69
エマージェンシーループ	69
ループポイントを保存する	70
保存したループポイントと呼び出す	70
保存したループポイントを削除する	71
ホットキュー	72
ホットキューを設定する	72
ホットキューから再生する	73
ホットキューを登録 / 削除する	73
ビートジャンプ / ループムーブ	74
BEAT セクション	74
ビートジャンプ / ループムーブを使う	74
クオンタイズ (デッキ用)	75
クオンタイズを使う	75
ビートシンク	76
ビートシンクを使う	76
インスタントダブルスを使う	77
ビートグリッド	78
ビートグリッドを調整する	78
クラウド	79
rekordbox CloudDirectPlay	79
音声出力	87
チャンネルセクション / マスターセクション	87

音声を出力する	88
チャンネル音声の音質を調整する	89
フェーダーを設定する	89
音声モニター	91
ヘッドホンセクション	91
ヘッドホンで音声モニターする	92
BOOTH セクション	93
BOOTH モニターを使う	93
マイク	94
MIC セクション	94
マイクを使う	95
SOUND COLOR FX	96
SOUND COLOR FX セクション	96
SOUND COLOR FX を使う	97
SOUND COLOR FX の種類と設定方法	98
BEAT FX	99
BEAT FX セクション	99
BEAT FX を使う	100
BPM を手動で設定する (TAP モード)	102
クオンタイズを使う (エフェクト用)	102
BEAT FX の種類と設定方法	103
設定	105
SETTINGS 画面から設定を変更する	105
UTILITY 画面から設定を変更する	107
PORTABILITY 画面から設定を変更する	112
記録メディア (SD, USB) から MY SETTINGS を読み込む	114
Bluetooth® 接続	115
Bluetooth 入力セクション	115
モバイルデバイスなどと接続する (Bluetooth 入力)	116

モバイルデバイスなどの音声で DJ 演奏をする (Bluetooth Playback)	118
モバイルスピーカーなどと接続する (Bluetooth 出力)	119
無線 LAN (Wi-Fi®) 接続	121
インターネット接続を確認する	122
DJ ソフトウェアを使う	123
DJ ソフトウェアを操作する	123
スペック	125
仕様	125
その他	128
故障かな？と思ったら	128
液晶画面について	131
バッテリーについて	132
商標および登録商標について	133
著作権	134

はじめに

本書の見かた

- このたびは、AlphaTheta 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書と、本機に付属している「クイックスタートガイド」および「使用上のご注意」を必ずお読みください。すべて、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
- 本書では、製品本体、PC/Mac 画面に表示されるメニュー名、ボタン名および端子名などを、[]で囲んで記載しています。(例：[ファイル]、[CUE] ボタン)
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合があります。
- 本書で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合があります。

付属品を確認する

- AC アダプター × 1
- 電源コード × 1
- 保証書（一部の地域）^{*1} × 1
- クイックスタートガイド × 1
- 使用上のご注意 × 1

^{*1} 欧州向け製品のみ。（日本向け、北米地域は「使用上のご注意」に記載されています。）

マニュアルを閲覧する

❖ rekordbox イン트로ダクション、操作説明書

「イン트로ダクション」は、rekordbox のセットアップ方法を記載しています。

「操作説明書」は、rekordbox の操作方法を記載しています。

下記のrekordbox サイトをご確認ください。

rekordbox.com/manual

安全上のご注意



危険



火災

感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**やけど**や**大けが**の原因になります。



禁止

火の中に入れない。製品に強い衝撃や圧力を加えない。切断しない。

内蔵充電電池が破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



分解しない。

故障や内蔵充電電池の液漏れや破裂などの原因となります。

内部の点検および修理は弊社修理受付窓口にお問い合わせください。



禁止

火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。

内蔵充電電池の液漏れや破裂、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。電池が液漏れしたり、異臭がする時はただちに火気より遠ざけてください。



禁止

調理台や加湿器のそばといった油煙、湿気の多い場所や、ほこりの多い場所に置かない。

火災・感電の原因となることがあります。



危険

バッテリーの液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、弊社修理受付窓口にお問い合わせください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。



警告



火災 感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**やけどや大けが**の原因になります。



必ず実行

電源コードや AC アダプターは本製品に付属のものを使用する。

本製品に他の電源コードや AC アダプターを使用した場合、本製品の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードや AC アダプターを傷つけない。

- ・ ストーブなどの熱器具に近づけないようにする。
- ・ 重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにする。
- ・ 引っ張ったり、ねじったり、無理に曲げたりしない。

コードが破損して火災・感電の原因となることがあります。

本機を廃棄する

電池は使用形態や使用環境、保存状態などによって、液漏れ・破裂・発熱・発火などで、けがや機器故障の原因となることがありますので、使用上のご注意の注意事項を必ずお守りください。本機では、以下の電池を内蔵しています。

- ・ 充電式電池 専用充電式リチウムイオン電池

本品は小型家電リサイクル法の対象です。一般ごみとしての廃棄を行わないでください。使用済の製品はお住まいの自治体の指示に従って廃棄してください。使用済製品に含まれる貴重な資源の有効活用にご協力ください。

本機の概要

本機は、付属のACアダプター（電源コード）でコンセントに接続して使用するか、内蔵リチウムイオンバッテリーで 사용할 수 있습니다.

お買い上げ時は、付属のACアダプター（電源コード）をコンセントに接続して充電しないと、本機の電源をオンにすることはできません。「本機の充電」の操作を行って、しばらく充電してから本機を使用してください。

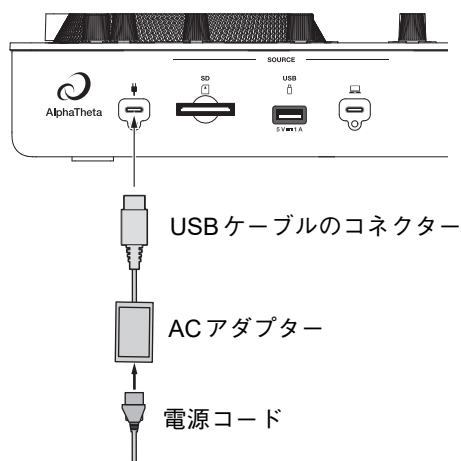
本機の充電

必ず本機に付属のACアダプター（電源コード）を使用してください。

- 充電推奨温度は10～35℃です。充電推奨温度外で充電できないときは、ステータス表示（29 ページ）に充電不可マークが表示されます。
- ACアダプターのUSB ケーブルのコネクター（端子部分）が一度でも曲がってしまった場合は、使用しないでください。
- 液体がかかるおそれのある場所では充電しないでください。
- USB ケーブルのコネクター（端子部分）に液体（汗や飲料水）や異物（ゴミやホコリ、金属片など）が付着しないように注意してください。
- 本機とACアダプターを同じ高さに設置するなどして、ACアダプターのケーブルとコネクターに負荷がかからないように注意してください。

1 ACアダプターのUSB ケーブルのコネクターを、本体リア部の電源入力に接続する

本体リア部



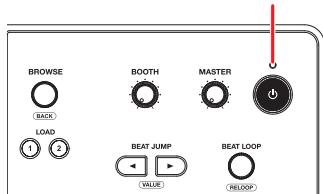
- USBケーブルのコネクターは、まっすぐ差し込んでください。

2 電源コードをコンセントに接続する

バッテリー充電インジケータがオレンジ色に点灯します。

コントロールパネル

バッテリー充電インジケータ



- 充電中はオレンジ色に点灯し、充電が完了すると消灯します。
- 充電開始後にバッテリー充電インジケータがちらつくことがあります。しばらく充電すると正常に点灯します。
- バッテリー残量が少ないと、本機の電源をオンにできないことがあります。しばらく充電してから、電源をオンにしてください。
- バッテリーを空の状態から満充電にするには、約3時間かかります。

システム概要

対応ソース

本機は以下のソースに対応しています。

- － SD メモリーカード*
- － USB ストレージデバイス
- － PC/Mac (rekordbox for Mac/Windows)
- － モバイルデバイス (rekordbox for iOS/Android)

* 本書では、SD メモリーカード、SD メモリーカードアダプタを装着した miniSD メモリーカードや microSD メモリーカードを総称して、「SD メモリーカード」と表記しています。

記録メディア (SD, USB) は以下に対応しています。

フォルダー階層	最大 8 階層まで (8 階層を超えるフォルダーに含まれているファイルは再生できません。)
最大フォルダー数	無制限 (1 つのフォルダー内で、10 000 を超えるフォルダーは表示できません。)
最大ファイル数	無制限 (1 つのフォルダー内で、10 000 を超えるファイルは表示できません。)
対応ファイルシステム	FAT16、FAT32、exFAT、HFS+ (NTFS には対応していません。)

- ・ フォルダーやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。
- ・ 空き容量がないときは、正常に動作しないことがあります。
- ・ 記録メディア (SD, USB) によっては正常に動作しないことがあります。
- ・ 本機との接続により、お客様が記録メディア (SD, USB) に保存したデータが損失、またはその他の直接・間接の障害が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

❖ SD メモリーカードについて

- SD/SDHC/SDXC規格に準拠したSDメモリーカードに保存されている楽曲ファイルを再生できます。
- CPRMには対応していません。

❖ USB ストレージデバイスについて

- USB マスストレージクラスの USB ストレージデバイスに保存されている楽曲ファイルを再生できます。
- 外付けDVD/CDドライブなどの光ディスク系デバイスは使用できません。
- USBハブは使用できません。
- 本機の USB ストレージデバイス挿入口に許容量以上の電流が流れると、USB ストレージデバイスへの電源供給を停止して通信を止めることがあります。正常な状態に戻すには、本機に接続された USB ストレージデバイスを取り外してください。また、過電流が検出された USB ストレージデバイスは使用しないでください。

上記の方法で正常な状態に戻らない（通信しない）ときは、本機の電源を入れ直してください。

- USB ストレージデバイスに複数のパーティションを設定しているときは、最初のパーティションのみ使用できます（rekordboxのライブラリ情報が含まれている場合は、rekordboxのライブラリ情報が格納されているパーティションが優先されます）。
- フラッシュカードリーダー搭載のUSB ストレージデバイスは、正常に動作しないことがあります。

対応ファイルフォーマット

本機は以下のフォーマットの楽曲ファイルに対応しています。

種類	拡張子	フォーマット	ビット処理	ビットレート	サンプリング 周波数
MP3	.mp3	MPEG-1 AUDIO LAYER-3		32 ～ 320 kbps	
AAC	.m4a、 .aac、 .mp4	MPEG-4 AAC LC	16bit		44.1 kHz、 48 kHz
		MPEG-2 AAC LC		16 ～ 320 kbps	
WAV	.wav	WAV			
AIFF	.aif、 .aiff	AIFF			
Apple Lossless	.m4a	ALAC	16bit、 24bit	—	44.1 kHz、 48 kHz
FLAC	.flac、 .fla	FLAC			

- 対応フォーマットのファイルでも再生できないことがあります。

タグ情報

楽曲ファイルのID3タグ（v1、v1.1、v2.2.0、v2.3.0、v2.4.0）またはメタタグから、タグ情報を読み込むことができます。

楽曲ファイルのアートワーク

楽曲ファイルには、JPEG形式（拡張子：“jpg”、“jpeg”）のアートワーク画像を追加できます。800 x 800 ピクセルより大きいサイズの画像は表示できません。

文字表示

Unicode以外のローカルコードの文字（トラック名など）を表示したいときは、**[Language]**の設定を変更してください（110 ページ）。

rekordbox for Mac/Windows

rekordbox for Mac/Windows は、楽曲管理とDJパフォーマンスができるPC/Mac向けのアプリケーションです。

- rekordbox for Mac/WindowsのEXPORTモードで管理する楽曲ファイルをエクスポートした記録メディア (SD, USB) を本機と接続すると、優れたDJパフォーマンスを実現できます。

PC/Macと本機をPRO DJ LINK接続すると、PC/Macから楽曲ファイルを直接本機にロードすることができます (38 ページ)。

- rekordbox for Mac/WindowsのDJパフォーマンス機能をPERFORMANCEモードと呼びます。本機をrekordbox for Mac/WindowsがインストールされたPC/Macに接続することで、サブスクリプションプランに契約していなくてもPERFORMANCEモードの機能を使用することができます。この仕組みをHardware Unlockと呼びます。
- Hardware Unlockの対象機能については、下記のサイトを参照してください。

rekordbox.com

- rekordbox for Mac/Windows ソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、rekordbox for Mac/Windows ソフトウェアをダウンロードしてください。

rekordbox.com

- rekordbox for Mac/Windowsの最新の動作環境、互換性、および対応OSに関する情報は、下記のサイトを参照してください。

rekordbox.com/system

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- PC/Macの省電力設定などによっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型のPC/Macでは、AC電源を接続するなど、高パフォーマンス設定でrekordbox for Mac/Windowsを使用してください。

OneLibrary

本機は「OneLibrary」形式にのみ対応しています。

rekordbox for Mac/Windows でエクスポートした記録メディア (SD, USB) を本機で使用するまえに、必ず以下の操作を行ってください。

一度以下の操作を行ったあとは、通常通りエクスポートして利用できるようになります。

- 以前のrekordbox for Mac/Windows でエクスポートを行った場合も、以下の操作が必要となります。

1 最新のrekordbox for Mac/Windows にアップデートする

rekordbox.com

2 rekordbox for Mac/Windows を起動する

3 利用する記録メディア (SD, USB) を PC/Mac に接続する

4 変換メッセージが表示されたら、[OK] をクリックする

変換を開始します。

変換が完了したら、記録メディア (SD, USB) を本機で利用できます。

- OneLibrary については、下記の FAQ も参照してください。

rekordbox.com/support/faq

rekordbox for iOS/Android

rekordbox for iOS/Androidは、楽曲管理とDJパフォーマンスができるモバイルデバイス(iOS/iPadOS/Android)用のDJアプリケーションです。

rekordbox for iOS/Androidがインストールされているモバイルデバイスを接続すると、rekordbox for iOS/Androidで管理している楽曲ファイルを本機で再生できます。

- 本機ではver.4.0.0以降で搭載されているDJパフォーマンス用の機能は使用できません。
- 本機と同じWi-Fiネットワークにモバイルデバイスを接続してください（121 ページ）。
- モバイルデバイスを縦向きにして、下記の画面で[CDJ/XDJ/DJMと接続]を選択してPRO DJ LINK接続を開始してください。
- PRO DJ LINK接続が完了したら、モバイルデバイスの楽曲を本機にロードし、再生できるようになります。



- rekordbox for iOS/Androidとの接続については、下記のサイトからFAQを参照してください。

iOS/iPadOS:

rekordbox.com/ja/support/faq/connecting-to-dj-units/#faq-q100037

Android:

rekordbox.com/ja/support/faq/connecting-to-dj-units-android/#faq-q110039

PRO DJ LINK

PRO DJ LINKには、記録メディア(SD, USB)を使用する「SD & USB Export」と、rekordboxがインストールされているPC/Macやモバイルデバイスを使用する「rekordbox LINK EXPORT」があります。

🔗 接続：「PRO DJ LINK接続」(38 ページ)

rekordbox CloudDirectPlay

本機を無線LAN (Wi-Fi) でインターネットに接続してrekordbox CloudDirectPlayを利用すると、クラウドストレージにアップロードした楽曲ファイルを本機にロードし、再生できます。

🔗 「クラウド」(79 ページ)

PC/Mac の準備

本機にPCの音声を入力する場合は、お使いのPCにあらかじめ下記のソフトウェアをインストールしてください。Macをお使いの場合は、専用オーディオドライバソフトウェアのインストールは必要ありません。

ー 専用オーディオドライバソフトウェア：本機にPCの音声を入力するためのドライバソフトウェアです。専用オーディオドライバソフトウェアをインストールすると、設定ユーティリティも同時にインストールされます（22 ページ）。

- 最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記のAlphaThetaサイトを参照してください。

alphatheta.com/support/Japan/

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- 1台のPC/Macに、本機を複数台接続した場合の動作は保証しません。
- 専用オーディオドライバソフトウェアがインストールされていないPCを本機に接続すると、環境によってはPCにエラーが発生することがあります。
- お使いのPC/Mac上のソフトウェアとの組み合わせによっては、動作に不具合が発生することがあります。

専用オーディオドライバースoftwareのインストール

❖ インストールについてのご注意

- インストールする前に、本機の電源をオフにし、本機とPCを接続しているUSB ケーブルを取り外してください。
- 専用オーディオドライバースoftwareをインストールする前に、PC上のすべてのアプリケーションを終了してください。
- 専用オーディオドライバースoftwareをお使いのPCにインストールするには、管理者権限が必要です。
- インストールする前に、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- インストールを途中で中止したときは、はじめからインストールをやり直してください。
- インストールが完了するまでは、本機とPCを接続しないでください。
- すべてのPC環境において動作保証するものではありません。

専用オーディオドライバースoftwareを入手する

1 下記のサイトにアクセスする

alphatheta.com/support/Japan/

2 [ソフトウェア更新情報]をクリックする

3 [オールインワンDJ システム] カテゴリー内の[OMNIS-DUO]をクリックする

4 [Drivers]をクリックする

5 [ダウンロードリンク]をクリックして、ファイルを保存する

- お使いの PC 専用のオーディオドライバースoftwareをダウンロードしてください。

専用オーディオドライバソフトウェアをインストールする

- 1 ダウンロードした専用オーディオドライバソフトウェアを解凍する
 - “OMNIS-DUO####.exe.zip” を解凍してください（#は専用オーディオドライバソフトウェアのバージョン表示）。
- 2 インストールファイルをダブルクリックする
 - “OMNIS-DUO_#.###.exe” をダブルクリックしてください（# は専用オーディオドライバソフトウェアのバージョン表示）。
- 3 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、**[同意する]**にチェックを入れて**[OK]**をクリックする
 - 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意しないときは、**[キャンセル]**をクリックして、インストールを中止してください。
- 4 画面の指示にしたがって、インストールする

設定ユーティリティを使う

PCに専用オーディオドライバーソフトウェアをインストールすると、設定ユーティリティを使って以下の内容を確認および設定できます。

- ー バッファサイズを調整する（Windows ASIO使用時）（24 ページ）
- ー 専用オーディオドライバーソフトウェアのバージョンを確認する（25 ページ）

設定ユーティリティを表示する

❖ Windows 11 をお使いの場合

- 1 スタートメニューから[すべてのアプリ] → [AlphaTheta] → [OMNIS-DUO設定ユーティリティ]をクリックする

❖ Windows 10 をお使いの場合

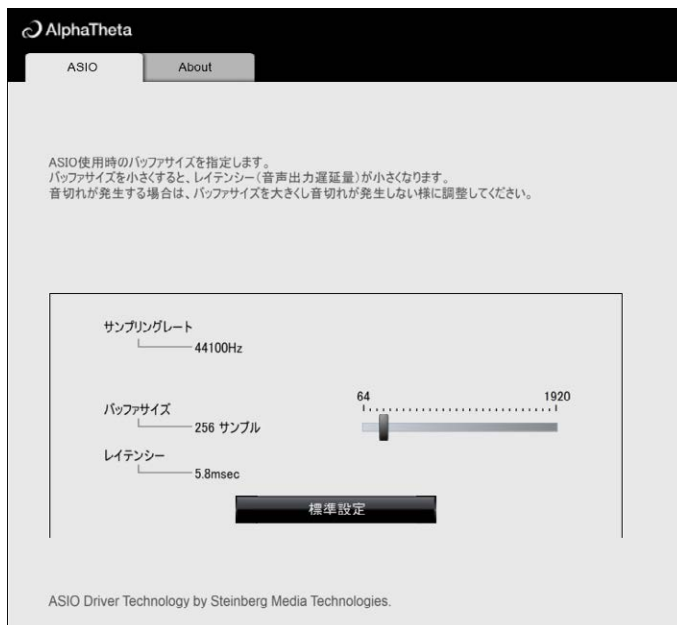
- 1 スタートメニューから[AlphaTheta] → [OMNIS-DUO設定ユーティリティ]をクリックする

バッファサイズを調整する（Windows ASIO 使用時）

- 本機を既定のオーディオデバイスとして利用しているアプリケーション（DJソフトウェアなど）が起動している場合は、終了してからバッファサイズを調整してください。

1 [ASIO] タブをクリックする

2 スライダーでバッファサイズを調整する



- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落（音とぎれ）などは発生しにくくなりますが、音声データの伝送遅延（レイテンシー）によるタイムラグが増大します。

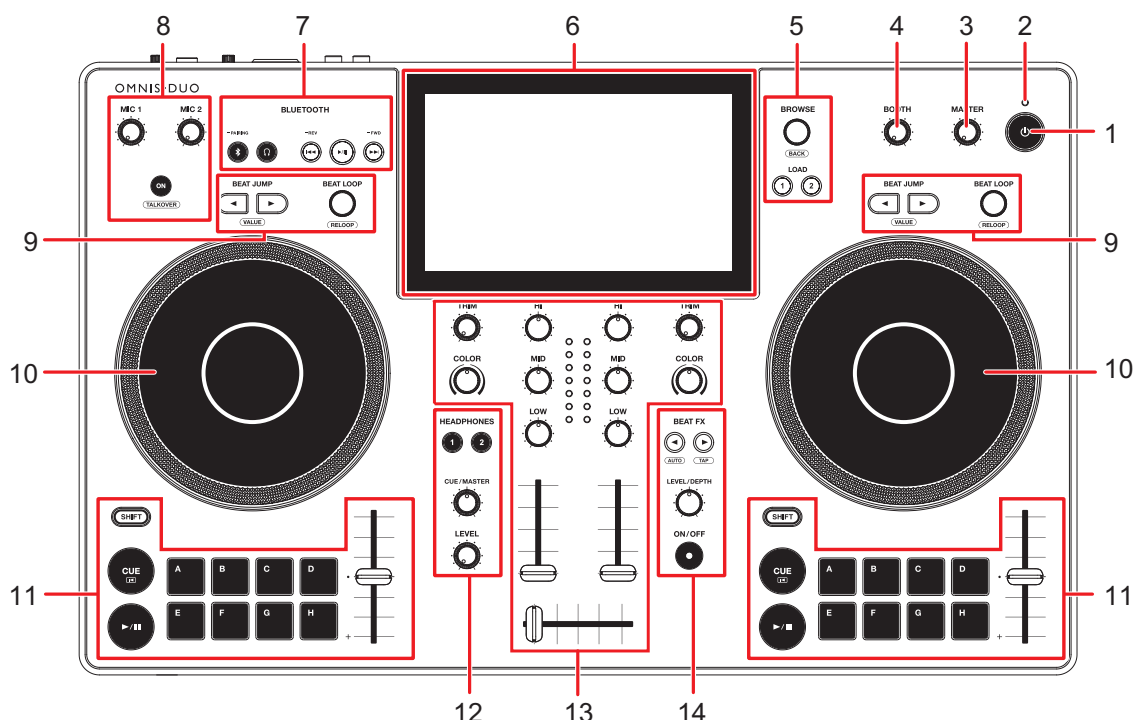
専用オーディオドライバソフトウェアのバージョンを確認する

1 [About] タブをクリックする



各部の名称

コントロールパネル



1. 電源ボタン

本機の電源をオン（長押し）／オフします。

- 電源をオフにするときは、本体表示部に確認ダイアログが表示されます。
- 初回起動時や、長期間使用していなかったあとに電源を入れる場合は、ACアダプター（電源コード）をコンセントに接続してしばらく充電してください。
- バッテリーの容量が不足しているときは、長押しして電源を入れても、電源(⏻)ボタンが10秒間赤く点灯し、電源が入りません。

2. バッテリー充電インジケーター

本機の充電中に点灯し、充電が完了すると消灯します。

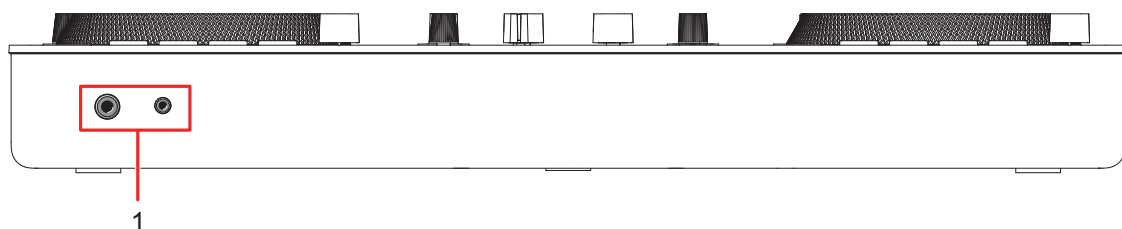
- バッテリーの残量は本体表示部で確認できます。

⚠ 注意

- ACアダプター（電源コード）を接続せずにバッテリーで本機を使用する場合は、バッテリーの残量に注意してください。バッテリーを使い切ると、メモリに記憶されている内容が消去されます。バッテリーの残量を使い切る前にACアダプター（電源コード）を接続して、充電してください。

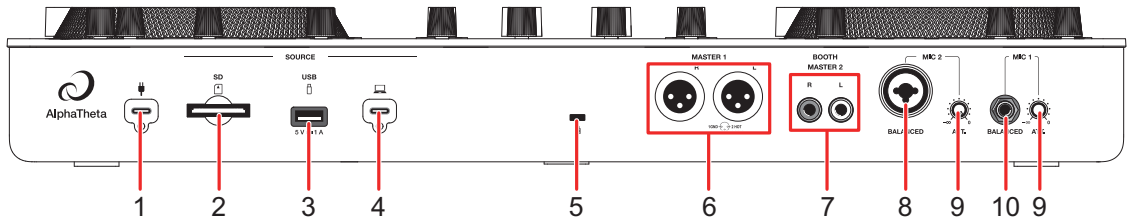
3. **MASTER LEVEL** ノブ（87 ページ）
4. **BOOTH LEVEL** ノブ（93 ページ）
5. **ブラウズセクション**（43 ページ）
6. **本体表示部**（29 ページ）
7. **Bluetooth入力セクション**（115 ページ）
8. **MICセクション**（94 ページ）
9. **BEATセクション**（74 ページ）
10. **ジョグ**（61 ページ）
ジョグの天面にはセンサーが内蔵されています。物を載せたり、強い力を加えないでください。
11. **デッキセクション**（55 ページ）
12. **ヘッドホンセクション**（91 ページ）
13. **チャンネルセクション/マスターセクション**（87 ページ）
14. **BEAT FXセクション**（99 ページ）

本体フロント部



1. **PHONES 端子**（92 ページ）
ヘッドホンはどちらか一方の端子（1/4"ステレオジャックまたは3.5 mm ステレオミニジャック）に接続してください。両方の端子を同時に使用すると、音質が悪くなったり、音量が小さくなったりする場合があります。

本体リア部



1. USB 端子（電源専用）（10 ページ）

付属の AC アダプター（電源コード）で、コンセントと接続します。

⚠ 注意

- 一度端子部分が曲がったコネクタは使用しないでください。
- コネクタを接続するときは、接続方向を確認してまっすぐ挿入してください。
- コネクタ部分に液体（汗や飲料水）や異物（細かいゴミやホコリ、金属片など）が付着しないようにしてください。
- 本機と AC アダプターを同じ高さに設置するなどして、AC アダプターのケーブルとコネクタに負荷がかからないように注意してください。

2. SD メモリーカード挿入口（41 ページ）

3. USB ストレージデバイス挿入口（42 ページ）

4. USB 端子（PC/Mac 接続用）（39 ページ）

PC/Mac と接続します。ケーブルは、2 m 以下の USB 認証品を使用してください。

5. ケンジントロック装着用穴

盗難防止用のワイヤーロックを装着します。

6. MASTER 1 端子 (balanced XLR)

パワーアンプやパワードスピーカーなどのアナログ入力端子と接続します。

- 必ずバランス出力として使用してください。XLR-RCA 変換ケーブル（変換アダプター）などを使ってアンバランス入力（RCA など）へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。
- ほかの製品の電源コードを接続しないように注意してください。
- ファンタム電源が供給できる端子を接続しないでください。
- アンバランス入力（RCA など）の接続には、[BOOTH/MASTER 2] 端子を使用してください。

7. BOOTH/MASTER 2 端子 (RCA)

パワーアンプなどのアナログ入力端子と接続します。

8. MIC 2 端子（XLR または 1/4" / 6.35 mm、TRS）（95 ページ）

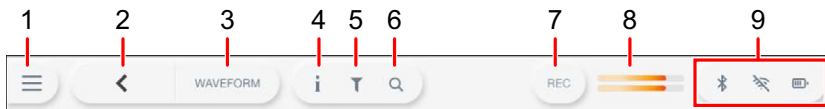
9. **ATT. ノブ** (95 ページ)

10. **MIC 1 端子 (TRS)** (95 ページ)

本体表示部

タイトル/ステータスバー

画面上部には、タイトル/ステータスバーが表示されます。



1. **☰ (ランチャー)**

ランチャー画面を表示します。**×**が表示されているときは、表示中の画面を閉じます。

2. **◀ (BACK)**

前の画面に戻ります。

3. **画面タイトル**

表示中の画面タイトルを表示します。

- 表示中の画面タイトルではなく **[WAVEFORM]** が表示されているときは、タッチすると **[WAVEFORM]** 画面を表示します。

4. **i (INFO)**

選択されているトラックの詳細情報を表示/非表示します。

5. **T (TRACK FILTER/EDIT)**

TRACK FILTER を使ってトラックを探します (46 ページ)。

6. **🔍 (SEARCH)**

SEARCH画面を表示します (44 ページ)。

7. **REC**

録音(MASTER REC)パネルを表示します (59 ページ)。

8. **マスターレベルインジケーター** (89 ページ)

9. **ステータス表示**

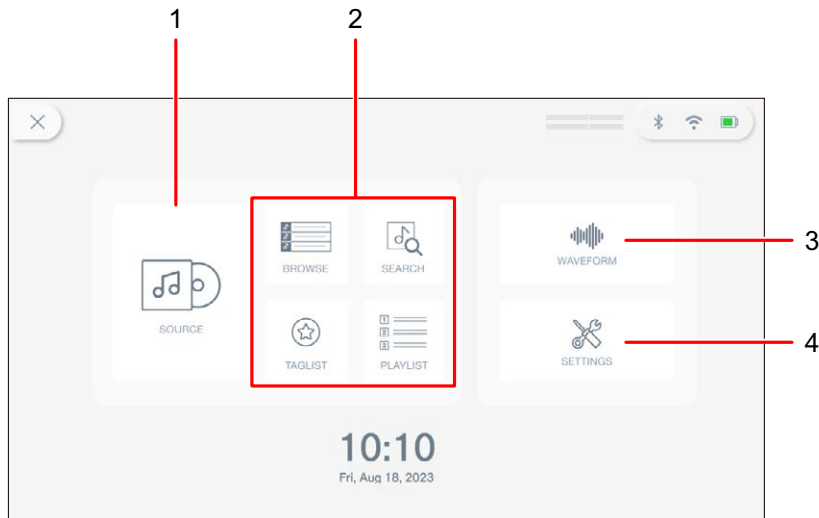
以下のステータスを表示します。

- Bluetooth接続状態 (📶: 機能オン/接続中、📶: 機能オフ)
- Wi-Fi接続状態 (📶、📶、📶、📶: 機能オン/接続中の電波強度、📶: 機能オフ)
- バッテリーの残量および充電状態 (🔋: バッテリー残量、🔋: 充電中、🔋: 充電不可)

タッチすると、**[PORTABILITY]**画面を表示します (112 ページ)。

ランチャー画面

画面上部のタイトル/ステータスバーの☰（ランチャー）をタッチすると、ランチャー画面が表示されます。ランチャー画面から、各画面を表示します。



1. SOURCE

[SOURCE]（演奏するトラックのソースを選択する）画面を表示します（31 ページ）。

2. ブラウズボタン

[BROWSE]、[TAGLIST]、[PLAYLIST] はブラウズ画面（32 ページ）を、[SEARCH] は SEARCH画面（44 ページ）を表示します。

3. WAVEFORM

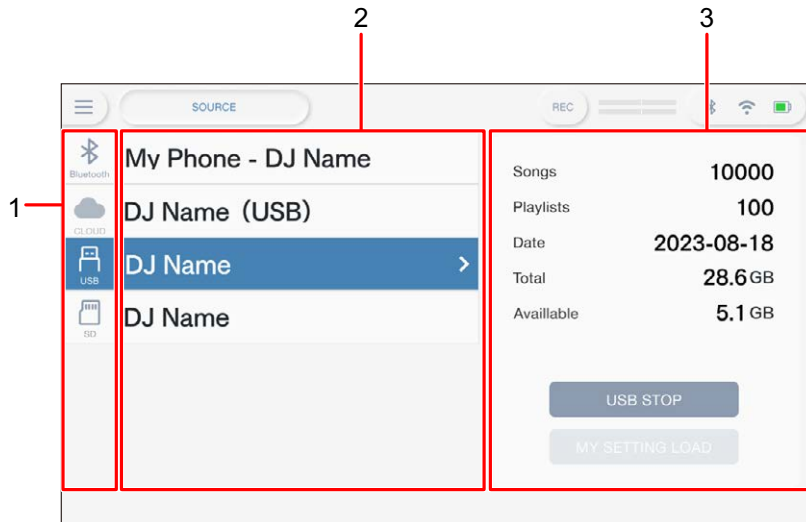
ロードしたトラックを演奏する[WAVEFORM]画面を表示します（33 ページ）。

4. SETTINGS

各種設定をする[SETTINGS]画面を表示します（105 ページ）。

SOURCE 画面

ランチャー画面で[**SOURCE**]をタッチすると、ソース選択画面が表示されます。



1. ソースアイコン

接続されているソースを表示します。

2. ソース名/ステータス表示

ソース名と、ソースの選択状態を表示します。

3. ソース情報

ハイライトされているソースの情報を表示します。

- 記録メディア(SD, USB)が選択されているときは以下を設定できます。
 - [MY SETTINGS LOAD]**: 選択中の記録メディア(SD, USB)などに保存したUTILITY設定とその他の設定内容を読み出します。
- Bluetooth機器が選択されているときは以下を利用できます。
 - [Send to] : [DECK]** : Bluetooth機器からの入力音声でDJ演奏することができます (118 ページ)。**[MIXER]** : 音声をそのまま入力します。

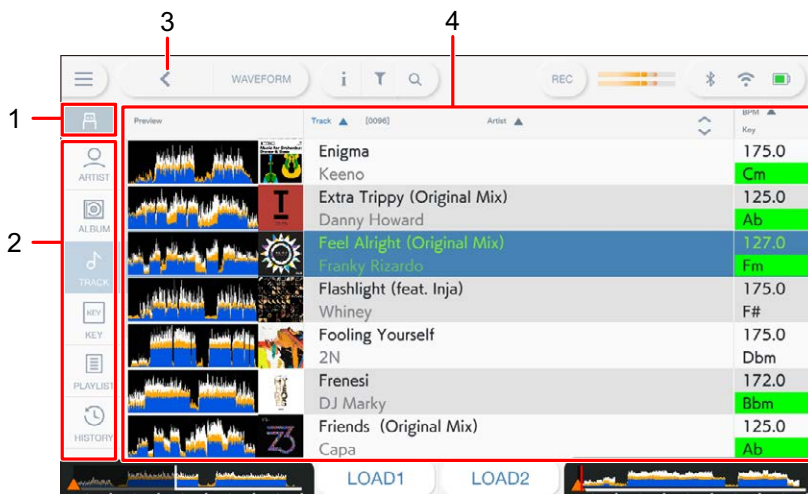
ブラウズ画面

ランチャー画面で[BROWSE]、[TAGLIST]、[PLAYLIST]をタッチすると、ブラウズ画面（トラックリスト）が表示されます。

記録メディア(SD, USB)のライブラリや、rekordbox CloudDirectPlayのクラウドにあるライブラリ、接続されたPC/Mac (rekordbox for Mac/Windows)のライブラリ、接続されたモバイルデバイス (rekordbox for IOS/Android) のライブラリをブラウズできます。

- BROWSE画面で、rekordboxのライブラリ情報が入っていない記録メディア (SD, USB) をブラウズしたときは、フォルダーとトラックを階層構造でリスト表示します。

[BROWSE]をタッチしたとき



1. ソースアイコン

[SOURCE]画面で選択したデバイスのアイコンが表示されます（31 ページ）。

2. カテゴリー

カテゴリーを表示します。

- カテゴリーの種類は、rekordbox for Mac/Windows の[環境設定]や rekordbox for iOS/Android の[設定]で設定できます。

3. < (BACK)

前の画面に戻ります。

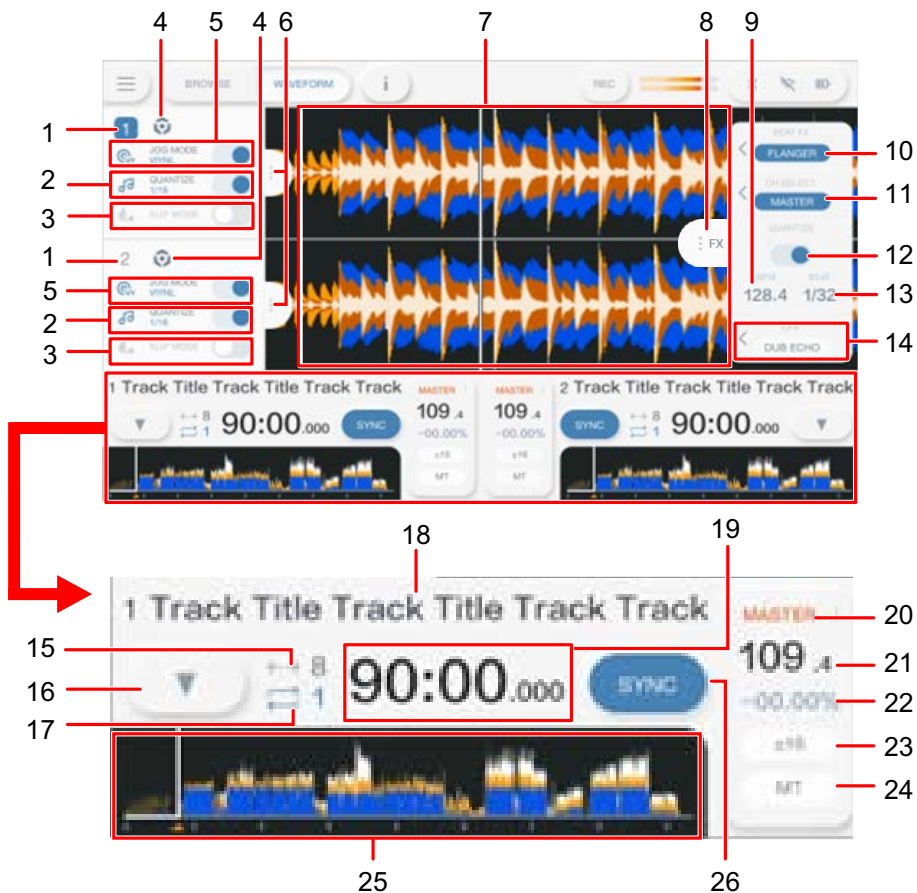
4. トラックリスト

選択している階層やプレイリスト内の Preview 波形、アートワークおよびトラックリストを表示します。

- [Preview] カラムで波形をタッチすると、ロードする前に音声を確認できます（47 ページ）。

- アートワークをタッチすると、タグリストへの登録/登録解除ができます (50 ページ)。
- カラムタイトルをタッチして、リストを並べ替えることができます。
-  をタッチするとサブカラムの選択画面が表示され、表示するサブカラムを選択できます (サブカラムの種類は、rekordbox for Mac/Windowsの[環境設定]で設定できます)。

再生画面 (WAVEFORM 画面)



❖ デッキ情報パネル

1. デッキ番号

アクティブデッキの番号は青色で表示されます。

2. QUANTIZE (デッキ用) (75 ページ)

デッキ用のクオンタイズがオンで有効のときはQUANTIZE表示とクオンタイズ拍数が青色で、オフまたはオンで無効のときはグレーで表示されます。

- クオンタイズに設定されている拍数は、[SETTINGS]画面の[Quantize Beat Value]で設定できます（106 ページ）。

3. SLIP MODE

スリップがオンのときは青色で、オフのときはグレーで表示されます。

4. ソースアイコン

トラックのソースの種類を表すアイコンが表示されます。

5. JOG MODE

VINYL モードがオンのときは青色で、オフのときはグレーで表示されます。

6. デッキ情報タブ

デッキ情報パネルを表示/非表示します。

❖ 拡大波形

7. 拡大波形

rekordboxで解析した拡大波形、キューポイント、ループポイント、ホットキューポイント、カウントダウン表示などを表示します。

拡大波形をタッチして、アクティブデッキを切り替えます。また、拡大波形をロングタッチして[WAVEFORM]パネルを表示し、以下のモードを切り替えます。

- ZOOM モード: 上下の拡大波形を同時に拡大/縮小します。
- GRID ADJUST モード: アクティブデッキにロードされているトラックのビートグリッドを調整します（78 ページ）。

- [SOURCE]画面の[MY SETTINGS LOAD]、または[SETTINGS]画面の[Waveform Color]で波形の色を変更できます（106 ページ）。

❖ エフェクト情報パネル

8. FXタブ

エフェクト情報パネルを表示/非表示します。

9. BPM

BEAT FX用のBPM（Beats Per Minute。1 分間の拍数）を表示します。

オートモードのときは自動で検出したBPMを表示します。手動入力モードのときはBPMが緑色で表示されます。

10. BEAT FX

選択されているBEAT FX（エフェクト名）を表示します（99 ページ）。

11. CH SELECT

BEAT FXを加えるチャンネルを選択します。

12. QUANTIZE (BEAT FX用)

BEAT FX用のクオンタイズ機能がオンで有効のときはボタンが青色で、オフまたはオンで無効のときはグレーで表示されます (102 ページ)。

13. BEAT

エフェクトに設定されている拍数を表示します。

14. SOUND COLOR FX

選択されている Sound Color FX を表示します (96 ページ)。

❖ 全体波形・再生情報

15. ビートジャンプ拍数表示

ビートジャンプに設定されている拍数を表示します。

16. ▼

メモリーCUEの操作を行う **[MEMORY CUE]** パネルを表示します (65 ページ、70 ページ)。

17. ループ拍数表示

ビートループの拍数または実行中のループの拍数を表示します。

18. トラック名

ロードされているトラックの名称を表示します。

19. 時間表示 (分、秒、msec)

残り時間または経過時間を表示します。表示をタッチして、残り時間と経過時間表示を切り替えます。

20. MASTER 表示

デッキがマスターデッキのときに表示されます。

21. BPM

再生しているトラックの BPM (Beats Per Minute。1 分間の拍数) を表示します。

- 測定値が当社の DJ ミキサーなどと異なることがあります。測定方法などが異なるためであり、故障ではありません。

22. 再生速度

TEMPO スライダーの位置にしたがって、数値が変化します。

23. 再生速度可変範囲表示

元の再生速度に対して、調整できる範囲を表示します (57 ページ)。

24. MT 表示

マスターテンポを設定しているときにオン表示されます。

25. 全体波形

rekordboxで解析した全体波形、キューポイント、ループポイント、ホットキューポイントなどを表示します。

波形上の触れた位置から再生を開始できます（56 ページ）。

- 各表示は以下を示します。
 - ー プレーイングアドレス：トラック（1曲）を棒グラフ（横のライン）で示します。
現在の再生位置は、白色の縦線で示します。
時間表示が[TIME]のときは、グラフの左側から点灯して経過時間を示します。
[REMAIN]のときは、左側から消灯して残り時間を示します。
 - ー 目盛表示（30秒間隔）：プレーイングアドレスの下に30秒間隔のメモリを表示します（5分未満の楽曲で表示します）。
 - ー メモリーキュー／ループポイント、ホットキュー／ループポイント：波形表示の上部に、楽曲に記録されているメモリーキュー／ループポイント、ホットキュー／ループポイントをマークで表示します。
 - ー キュー／ループポイント：波形表示の下部に、楽曲に設定されているキュー／ループポイントをマークで表示します。
- [SOURCE]画面の[MY SETTINGS LOAD]、または[SETTINGS]画面の[Waveform Color]で波形の色を変更できます（106 ページ）。
- メモリーキュー／ループポイントとホットキュー／ループポイントは、rekordboxで色を設定できます。

26. SYNC

ビートシンクのオン/オフを切り替えます（76 ページ）。

画面の基本操作

本体表示部の画面は、ロータリーセクターを使って、または画面をタッチして操作します。

❖ ロータリーセクターで操作する

以下の操作が可能です。

操作	説明
回す	カーソルを移動し、選択する項目をハイライトします。
押す	項目の選択を決定します。
SHIFT ボタン + 押す	1 つ上の階層（前の画面）を表示します。

❖ タッチディスプレイで操作する

以下の操作が可能です。

操作	説明
タッチ	項目の選択を決定します。
	波形部以外 - 階層をタッチすると、下の階層を表示します。 - トラックをタッチすると、[LOAD] ボタンを表示します。
フリック	ブラウズ画面で、全体波形の任意の位置をタッチしている間、タッチした位置からの音声をモニターできます。
	階層を左右に移動、または階層を上下にスクロール表示します。

接続（基本スタイル）

接続を行う前に、必ず本機の電源をオフにし、電源コードを抜いてください。

電源コードは、すべての接続が完了してから接続してください。

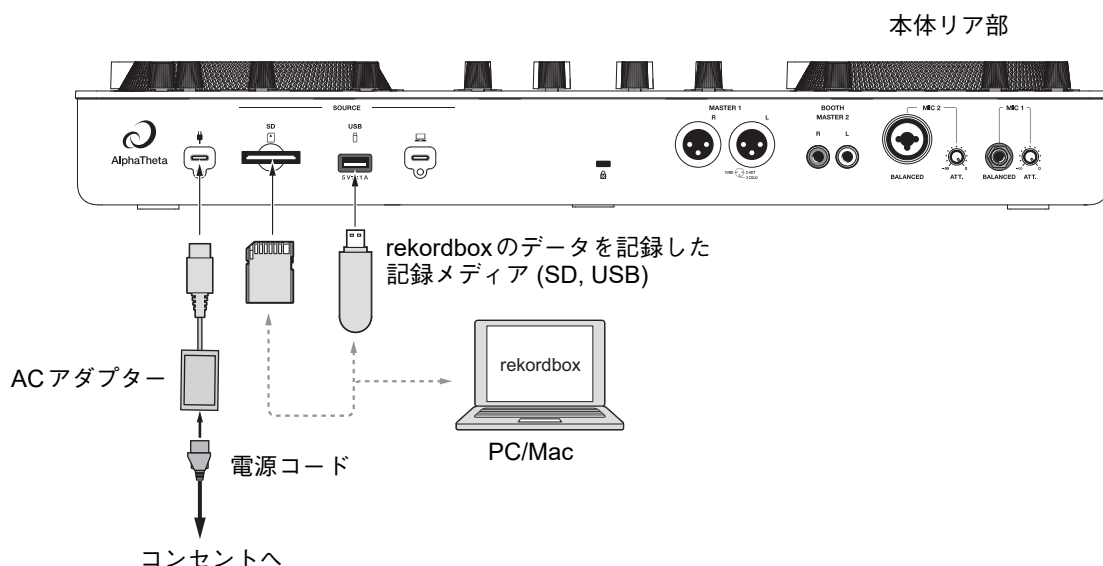
- 付属の電源コードとACアダプターを使用してください。
- 接続する機器の取扱説明書も参照してください。

PRO DJ LINK 接続

SD & USB Export

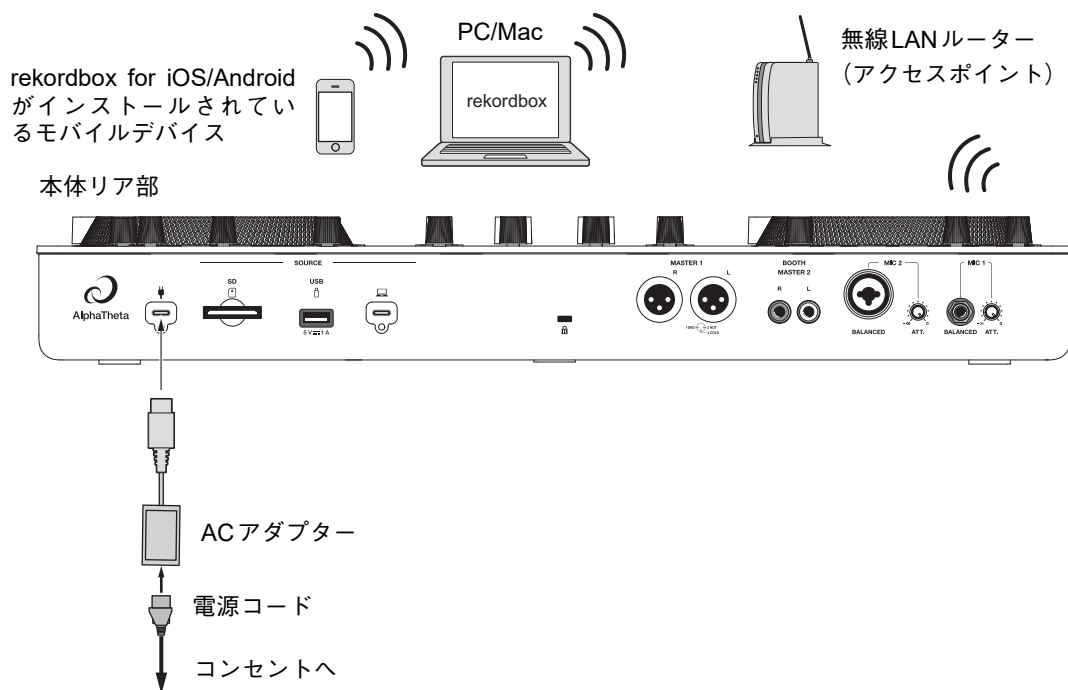
記録メディア (SD, USB) を使って、rekordboxの楽曲ファイルやデータを本機と受け渡すことができます。rekordboxであらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、ホットキューなどの情報を使って演奏できます。

- 本機は、OneLibrary形式にのみ対応しています（17 ページ）。



rekordbox LINK EXPORT

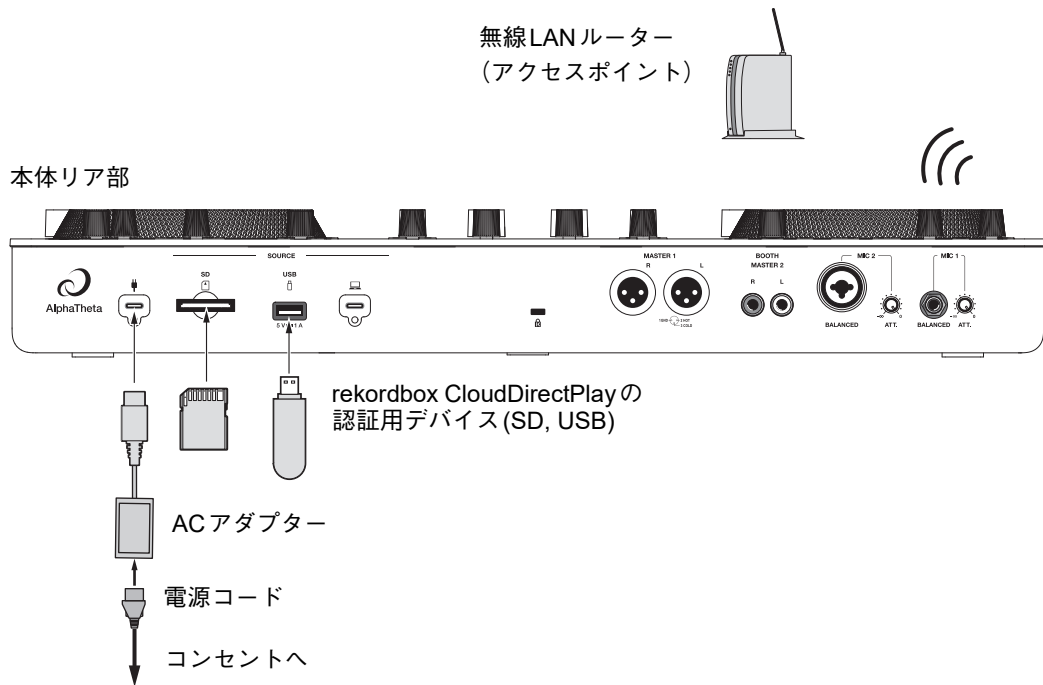
rekordbox for Mac/Windows がインストールされている PC/Mac や rekordbox for iOS/Android がインストールされているモバイルデバイスと、本機を無線 LAN (Wi-Fi) ルーターを使って接続すると、rekordbox 内のトラックを選曲し、再生できます。rekordbox であらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、ホットキューなどの情報を使って演奏できます。



- 本機は、USB 接続での rekordbox LINK EXPORT には対応していません。

rekordbox CloudDirectPlay

rekordbox CloudDirectPlay を利用する（79 ページ）には、無線LAN ルーターをインターネットへ接続してください（121 ページ）。



メディアの挿入と取り外し

SDメモリーカード

- **[SD STOP]**を使用しないでSDメモリーカードを取り外さないでください。本機の管理データが消去されたり、SDメモリーカードを読み込めなくなることがあります。
- SDメモリーカードを強く押したり、引っ張ったりしないでください。破損の原因となります。

SDメモリーカードを挿入する

- 1 SDメモリーカードの裏面（端子側）を上向きにして、切り欠き側からSDメモリーカードがロックされるまでゆっくりと水平に差し込む

SDメモリーカードを取り外す

- 1 画面上部のタイトル / ステータスバーの （ランチャー）をタッチする

ランチャー画面が表示されます。

- 2 **[SOURCE]** をタッチする

[SOURCE]画面に、本機に接続されているデバイスが表示されます（31 ページ）。

- 3 SDメモリーカードを選択して、**[SD STOP]** をタッチする

- 4 SDメモリーカードが非表示に変わったら、SDメモリーカードを押し込む

ロックが解除されます。

- 5 ゆっくりと水平に引き抜く

USB ストレージデバイス

- **[USB STOP]** を使用しないで USB ストレージデバイスを取り外さないでください。本機の実管理データが消去されたり、USB ストレージデバイスを読み込めなくなることがあります。
- USB ストレージデバイスを強く押したり、引っ張ったりしないでください。破損の原因となります。

USB ストレージデバイスを接続する

- 1 **USB** 端子に、**USB** ストレージデバイスが止まるまでゆっくりと差し込む

USB ストレージデバイスを取り外す

- 1 画面上部のタイトル / ステータスバーの  (ランチャー) をタッチする

ランチャー画面が表示されます。

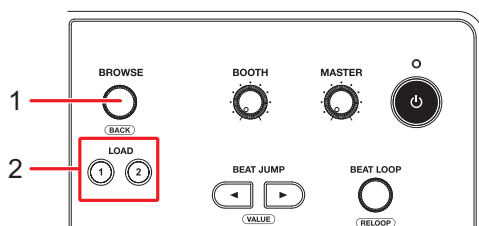
- 2 **[SOURCE]** をタッチする

[SOURCE] 画面に、本機に接続されているデバイスが表示されます (31 ページ)。

- 3 **USB** ストレージデバイスを選択して、**[USB STOP]** をタッチする
- 4 **USB** ストレージデバイスが非表示に変わったら、**USB** ストレージデバイスを水平に引き抜く

選曲

ブラウズセクション



1. **ロータリーセレクトター** (37 ページ)
カーソルを移動したり、選択を確定します。
 - **[SHIFT]**を押しながら押すとBACKボタンとして動作します。
2. **LOAD 1、LOAD 2 ボタン**
指定のデッキ (1 または 2) にトラックをロードし、再生を開始します。

ソースを選択する

- 1 **ランチャー画面で**[SOURCE]**をタッチする**
[SOURCE]画面に、本機に接続されているソースが表示されます (31 ページ)。
- 2 **ソースを選択する**

トラックを選択する

ブラウズ画面からトラックを選択する

1 ブラウズ画面を表示する

トラックリストが表示されます。

🔍 「ブラウズ画面」 (32 ページ)

2 トラックを選択する

🔍 「トラックをロードする」 (48 ページ)

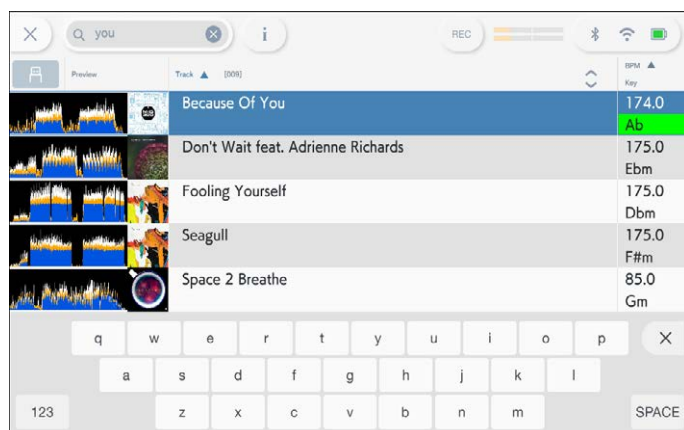
トラックを探す

SEARCH 機能を使って探す

SEARCH 機能は、rekordbox のライブラリをブラウズしているときに使用できます。

1 ランチャー画面で[SEARCH]をタッチする

SEARCH 画面が表示されます。



- SEARCH画面は、ランチャー画面で[BROWSE]をタッチし、BROWSE画面のをタッチして表示することもできます。

2 キーボードを使ってキーワードを入力する

入力したキーワードを含むトラック名などが表示されます。

- スペースで区切って、複数のキーワードを指定できます。

ジャンプ機能を使って検索する

ジャンプ機能には、2つのモードがあります。

❖ アルファベットジャンプ

1 アルファベット順表示のリストで、ロータリーセクターを長押しする

アルファベットジャンプモードに切り替わり、ハイライトされているトラックまたはカテゴリーの頭文字が表示されます。

- アルファベットジャンプで表示される文字はA～Z、0～9、および一部の記号です。

2 ロータリーセクターを回して、表示をスクロールする

表示されている文字が頭文字のトラックまたはカテゴリーにカーソルが移動します。

- 表示されている文字から始まるトラックまたはカテゴリーがない場合は、カーソルは移動しません。

❖ ページジャンプ

1 アルファベット順表示以外のリストで、ロータリーセクターを長押しする

ページジャンプモードに切り替わります。

2 ロータリーセクターを回して、ページをスクロールする

各ページのリストの最初または最後のトラックにカーソルが移動します。

TRACK FILTER を使って探す

rekordbox でトラックに付加したタグ情報（マイタグ）や BPM、キーなどの情報を使ってトラックを絞り込みます。TRACK FILTER 機能は、rekordbox for Mac/Windows のライブラリをブラウズしているときに使用できます。

❖ トラックを絞り込む

1 ブラウズ画面を表示する

トラックリストが表示されます。

🔍 「ブラウズ画面」 (32 ページ)

2 (TRACK FILTER) をタッチする

トラックフィルター編集画面が表示されます。

3 条件を指定する

- トラックフィルター条件には、トラックに付加したタグ情報（マイタグ）、BPM、KEY、RATING、COLOR を設定することができます。
- チェックボックスにチェックマークを付けると、フィルター条件が有効になります。
- **[MASTER DECK]** をタッチすると、マスターデッキに設定されているデッキで再生しているトラックの BPM とキーを取り込みます。
- 条件設定は、記録メディア (SD, USB) ごとにそれぞれ記憶されます。

4 画面上部のスイッチをタッチして、フィルターをオンにする

指定した条件でトラックが絞り込まれます。

再生中の楽曲のキー（調）を使って探す

マスターデッキにロードされているトラックのキーと相性が良い楽曲のKEYが緑色に変わります。

- マスターデッキが設定されていない場合は、この機能は利用できません。

ロードする前に音声を確認する (TOUCH Preview)

トラックをロードする前に、音声をモニターできます。

1 ヘッドホンを接続する

- ☞ 「本体フロント部」 (27 ページ)

2 トラックリストで波形をタッチする

再生が開始され、ヘッドホンで音声をモニターできます。

- 波形をタッチしている間、再生中の音声を出力しながら音声をモニターできます。
- デッキへロードできないトラックはモニターできません。

- ☞ 「ブラウズ画面」 (32 ページ)

トラックをロードする

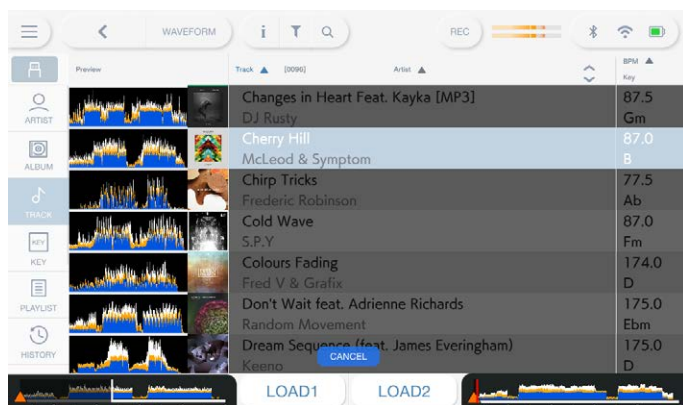
1 トラックリストで、トラックを選択する

- ☐ 「トラックを選択する」 (44 ページ)

2 [LOAD 1]または[LOAD 2]ボタンを押す

ボタンを押したデッキにトラックがロードされます。

- 画面の[LOAD 1]または[LOAD 2]をタッチしてロードすることもできます。



- UTILITY設定の[Load Lock]が[Lock]に設定されているときは、再生中にほかのトラックをロードできません (108 ページ)。**[Unlock]**に設定するか、**▶/||**ボタンを押して一時停止してからトラックをロードしてください。
- オートキューがオンのときは、音声開始位置で一時停止状態になります。**▶/||**ボタンを押すと再生を開始します。

HISTORY を使う

約 1 分間再生したトラックは、HISTORY（演奏履歴リスト）に記録されます（999 件まで）。

- 本機に記録メディア (SD, USB) を接続すると、記録メディア (SD, USB) 内に自動で新しい HISTORY が作成されます。
- 同一のトラックを 2 回以上連続して再生した場合は、HISTORY に記録されないことがあります。
- HISTORY に記録されたトラックは、トラック名などが緑色（再生済み）で表示されます。
- rekordbox を使って HISTORY を元にプレイリストを作成できます。詳しくは、rekordbox for Mac/Windows のユーザーマニュアルを参照してください（8 ページ）。

HISTORY を参照する

1 ランチャー画面で **[BROWSE]** をタッチする

BROWSE 画面が表示されます。

2 カテゴリーで **[HISTORY]** を選択する

HISTORY リストが表示されます。

HISTORY を削除する

1 HISTORY リストで削除したい HISTORY をロングタッチする

削除メニューが表示されます。

2 **[DELETE]** または **[ALL DELETE]** を選択する

- **[DELETE]**：選択している HISTORY が削除されます。
- **[ALL DELETE]**：すべての HISTORY が削除されます。

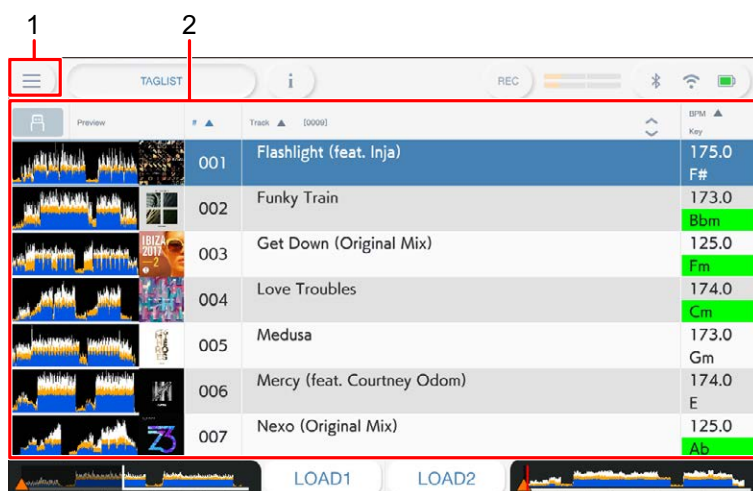
- rekordbox for Mac/Windows で HISTORY をプレイリストとして取り込むと、取り込まれた HISTORY は記録メディア (SD, USB) から削除されます。

タグリストを使う

次に再生するトラックやDJシーンに合わせて選んだトラックを、「タグリスト」に登録しておくことができます。

- タグリストは、記録メディア(SD, USB)または rekordbox CloudDirectPlay に1つ作成されます。記録メディア(SD, USB)をまたいでトラックをリストに登録することはできません。
- タグリストには、1 記録メディア(SD, USB)当たり 100 トラックまで登録できます。
- 同一フォルダー内の同一トラックを重複して登録することはできません。

タグリスト画面



1. ソースアイコン

[SOURCE]画面で選択したデバイスのアイコンが表示されます (31 ページ)。

2. タグリスト

タグリスト内の Preview 波形、アートワーク、連番およびトラックリストを表示します。

- [Preview] カラムで波形をタッチすると、ロードする前に音声を確認できます (47 ページ)。
- カラムタイトルをタッチして、リストを並べ替えることができます。
-  をタッチするとサブカラムの選択画面が表示され、表示するサブカラムを選択できます (サブカラムの種類は、rekordbox for Mac/Windows の [環境設定] で設定できます)。

タグリストにトラックを追加する

1 トラックリストで、トラックのアートワークをタッチする

タグリストに追加されたトラックのアートワークにチェックマークが表示されます。

タグリストからトラックを削除する

❖ 個別に削除する

1 トラックリストで、チェックマークが表示されているアートワークをタッチする

トラックがタグリストから削除されます。

❖ 一括で削除する

1 ランチャー画面で[TAGLIST]をタッチする

[TAGLIST]画面が表示されます。

2 トラックリストをロングタッチする

MENUが表示されます。

3 [REMOVE ALL]を選択する

タグリストからすべてのトラックが削除されます。

- 再生中のトラックをタグリストから削除すると、トラックの最後まで再生してから停止します。次のトラックは再生しません。

タグリストをプレイリストに変換する

タグリストから変換したプレイリストは、[PLAYLIST] カテゴリー内にリスト表示されます。

- 記録メディア (SD, USB) または rekordbox CloudDirectPlay 内に rekordbox のライブラリ情報が保存されていない場合は、タグリストをプレイリストに変換できません。
- タグリストに、rekordbox で管理しているトラックと rekordbox で管理していないトラックが登録されている場合は、rekordbox で管理されているトラックのみプレイリストに変換されます。

1 ランチャー画面で[TAGLIST]をタッチする

[TAGLIST]画面が表示されます。

2 トラックリストをロングタッチする

MENUが表示されます。

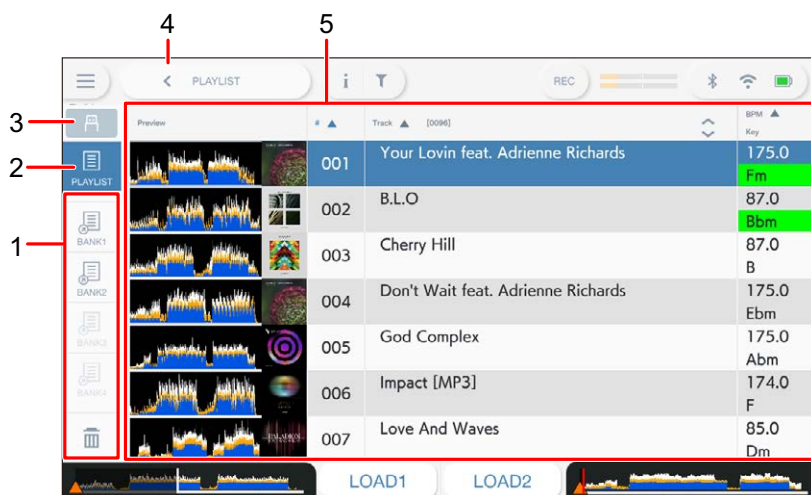
3 [CREATE PLAYLIST]を選択する

[TAG LIST XXX]という名前のプレイリストに変換されます。

プレイリスト画面を表示する

プレイリスト画面

ランチャー画面の[PLAYLIST]をタッチするとPLAYLISTの内容がリスト表示されます。ブラウザ画面からもPLAYLISTの内容を表示することができます（32 ページ）。



1. プレイリストバンク

プレイリストバンクにプレイリストを登録しておくと、階層移動することなくプレイリストを表示することができます（54 ページ）。

2. カテゴリー

[PLAYLIST] カテゴリーを表示します。

3. ソースアイコン

[SOURCE] 画面で選択したソースのアイコンが表示されます（31 ページ）。

4. < (BACK)

上の階層を表示します。

5. トラックリスト

プレイリスト内のPreview波形、アートワーク、連番およびトラックリストを表示します。

- [Preview] カラムで波形をタッチすると、ロードする前に音声を確認できます（47 ページ）。
- カラムタイトルをタッチして、リストを並べ替えることができます。

-  をタッチするとサブカラムの選択画面が表示され、表示するサブカラムを選択できます（サブカラムの種類は、rekordbox for Mac/Windowsの[環境設定]で設定できます）。

❖ プレイリストを削除する

1 [PLAYLIST]画面で、プレイリストをロングタッチする

MENUが表示されます。

2 [DELETE]または[ALL DELETE]を選択する

- [DELETE]：選択しているプレイリストが削除されます。
- [ALL DELETE]：すべてのプレイリストが削除されます。

プレイリストバンクにプレイリストを追加する

1 [PLAYLIST]画面で、プレイリストをハイライトする

2 グレーアウト表示されているプレイリストバンクのアイコンを選択する

プレイリストが登録されると、プレイリストバンクのアイコンが登録済の表示に変わります。

- 白色アイコンのプレイリストバンクを選択すると、登録したプレイリストのトラックリストが表示されます。

プレイリストバンクからプレイリストの登録を解除する

1 プレイリストバンクでを選択する

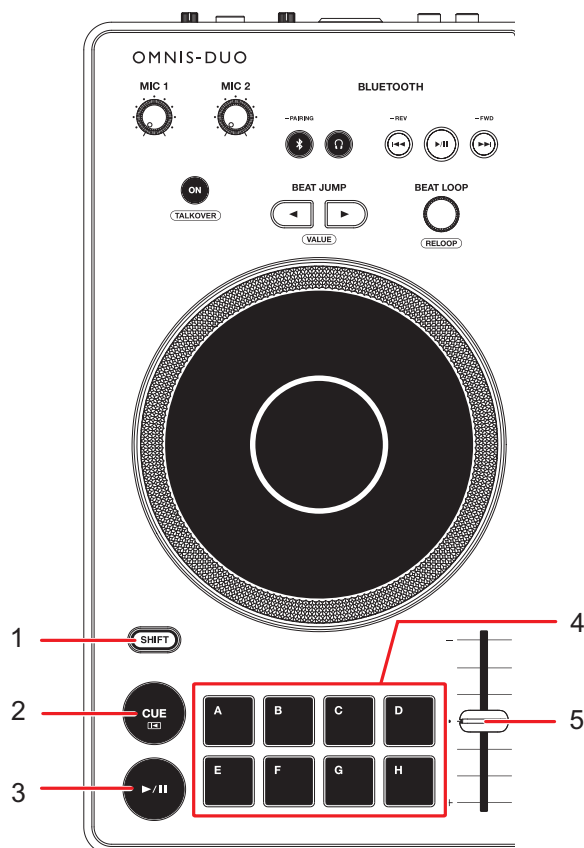
登録解除モードになり、プレイリストバンクアイコンに✕が表示されます。

2 登録を解除するプレイリストバンクのアイコンを選択する

プレイリストの登録が解除され、登録解除モードがオフになります。

再生

デッキセクション



1. **SHIFT** ボタン
2. **CUE** ボタン (64 ページ)
3. **▶/||** ボタン
トラックを再生/一時停止します。
4. **ホットキュー (A~H) ボタン** (72 ページ)
5. **TEMPO** スライダー (57 ページ)

再生 / 一時停止する

1 ボタンを押す

- 一時停止中：再生を開始します。
- 再生中：一時停止します。
- UTILITY 設定の **[Play Mode]** が **[Single]** に設定されているときは、次のトラックは再生されません（109 ページ）。
- VINYL モードで一時停止すると無音になります。通常モードで一時停止すると音声が続切れ途切れに出力されます（61 ページ）。

全体波形上の触れた位置から再生する

1 一時停止中、または VINYL モードでジョグダイヤルの天面を押しているときに、全体波形をタッチする

タッチした位置から再生を開始します。

- 全体波形にタッチしたまま指を移動させると、目的の位置まですばやく移動できます。

スリップモード

1 [WAVEFORM]画面で[SLIP MODE]をタッチしてオンにする

スリップモードをオンにすると、以下の操作中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。

操作を終了するとスリップが解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。

機能	説明
スリップポーズ	VINYL モード（61 ページ）で、再生中に ▶/ ボタンを押すと、一時停止中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップスクラッチ	VINYL モード（61 ページ）で、再生中にジョグダイヤルの天面を操作してスクラッチすると、スクラッチ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップループ	ループ再生を開始すると（68 ページ）、ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップホットキュー	再生中にホットキュー（ A～H ）ボタンを押すと、ホットキューポイントに戻り、ボタンを押している間再生を続けます。ホットキュー再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

再生速度を調整する（テンポコントロール）

1 TEMPO スライダーを動かす

- **[+]** 側に動かす：再生速度が速くなります。
- **[-]** 側に動かす：再生速度が遅くなります。

- **[WAVEFORM]** 画面で再生速度可変範囲表示をタッチすると **[TEMPO]** パネルが表示されます。TEMPO スライダーの可変範囲（ $\pm 6(0.02\%)$ 、 $\pm 10(0.05\%)$ 、 $\pm 16(0.05\%)$ 、WIDE(0.5%)）をタッチして選択します*。

[WIDE]の調整範囲は±100%です。 -100%に設定すると、再生が停止します。

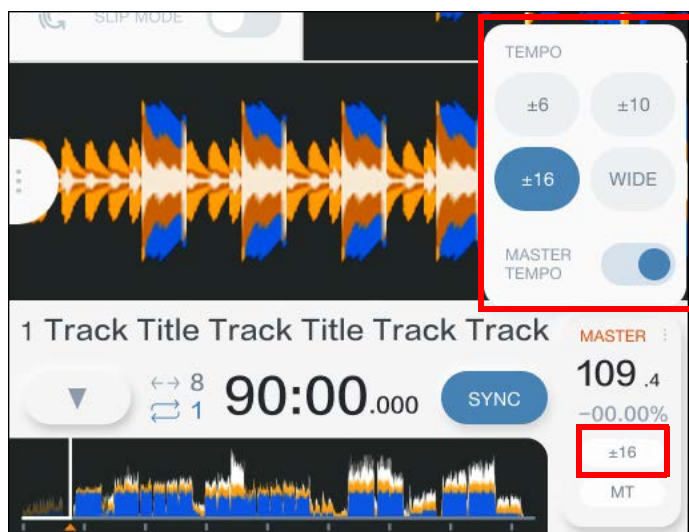
* ()内は調整単位。

音程を変えずに再生速度を調整する（マスターテンポ）

マスターテンポをオンにすると、TEMPOスライダーで再生速度を変えても音程が変わりません。

1 [WAVEFORM]画面で再生速度可変範囲表示をタッチする

[TEMPO]パネルが表示されます。



2 [MASTER TEMPO]をタッチしてオンにする

マスターテンポをオンにすると、[MT]が点灯します。

- もう一度[MASTER TEMPO]をタッチすると、マスターテンポがオフになります。

録音

[MASTER 1]、[BOOTH/MASTER 2] 端子から出力される音声と同じ音声を、USB ストレージデバイスにWAV ファイルとして録音できます。

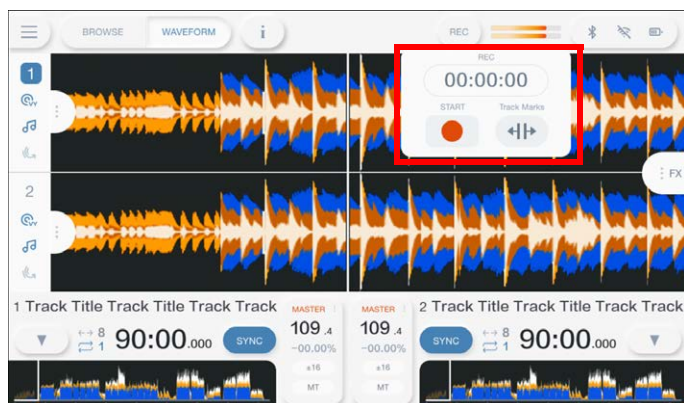
- 録音ファイルの名称は“REC***.WAV”（*** は3桁の数字）となります。
- SD メモリーカードへの録音はできません。

1 本機にUSB ストレージデバイスを接続する

🔌 「メディアの挿入と取り外し」(41 ページ)

2 タイトル/ステータスバーの[REC]をタッチする

[REC]パネルが表示されます。



3 [●(START)]をタッチする

録音を開始します。

- [SOURCE]画面でBluetooth機器を選択しているときは、録音を開始できません。
- 1GBの空き容量のUSBストレージデバイスで、約90分間の録音ができます。
- [■(STOP)]をタッチすると、録音を終了します。

録音しながらトラックを分割する

1 録音中に、タイトル/ステータスバーの[REC]をタッチする

[REC]パネルが表示されます。

2 [(Track Marks)]をタッチする

[ (Track Marks)]をタッチした位置でファイルを分割し、分割した位置以降を新しい音声ファイルとして録音を続けます。

ジョグの操作

操作モードを切り替える

- 1 [WAVEFORM]画面で[JOG MODE]をタッチしてモードを切り替える



オンのときはVINYLモードになります。

- **VINYL モード**：再生中にジョグ天面を押すと再生を停止し、そのまま回すとスクラッチできます。
- **通常モード**：ジョグの天面の操作で、再生の停止やスクラッチはできません。

ジョグを操作する

ジョグで以下の操作が可能です。

機能	説明
ピッチベンド	再生中に外周部分を右に回すと再生速度が加速し、左に回すと減速します。回転を止めると、通常の再生速度に戻ります。 ジョグモードが通常モードのときは、ジョグの天面を押しながら回すことによって、同じ操作ができます。
スクラッチ	ジョグモードが VINYL モードのときに、再生中にジョグの天面を押したまま回転させるとスクラッチできます。ジョグの天面から手を離すと、通常の再生に戻ります。
フレームサーチ	一時停止中にジョグを回すと一時停止位置を移動します。 1回転で1.8秒移動します。
早送り/早戻し	[SHIFT] ボタンを押しながらジョグを回すと、高速で早送り/早戻しします。

再生と停止の速度を調整する（VINYL モード）

以下の速度を調節します。

- ジョグの天面を押す、または [▶/■] ボタンを押してから再生が減速して停止するまでの速度
- ジョグの天面を離す、または [▶/■] ボタンを押してから通常の再生に戻るまでの速度

1 ランチャー画面で [SETTINGS] をタッチする

[SETTINGS] 画面が表示されます。

2 [UTILITY] をタッチする

[UTILITY] 画面が表示されます。

3 [Vinyl Speed Adjust] で調整方法を選択する

- [Touch & Release]：再生が減速して停止するまでの速度と、通常の再生に戻るまでの速度を調整します。

- **[Touch]** : 再生が減速して停止するまでの速度を調整します。
- **[Release]** : 通常の再生に戻るまでの速度を調整します。

4 ランチャー画面で**[SETTINGS]**をタッチする

[SETTINGS]画面が表示されます。

5 **[Vinyl Speed Adjust]**で速度を設定する

- 左 : 速度が速くなります。
- 右 : 速度が遅くなります。

キュー

あらかじめ設定されているポイントを瞬時に呼び出します。

キューポイントを設定する

1 一時停止中に[CUE]ボタンを押す

キューポイントが設定されます。

- 一時停止中にジョグを回すと、一時停止位置を微調整（0.5フレーム単位）できます。
- 新しいキューポイントを設定すると、既存のキューポイントは解除されます。
- 再生中に[BEAT LOOP]ノブを押してループを設定すると、ループインポイントがキューポイントとして設定されます（68 ページ）。
- UTILITY 設定の[Overwrite Current Cue with Hot Cue]を[On]に設定しているときは（108 ページ）、ホットキューを設定する、またはホットキューから再生を開始すると、そのポイントが新しいキューポイントとして設定されます。

キューポイントに戻る

1 再生中に[CUE]ボタンを押す

キューポイントに戻り、キュー待機になります。

- キューポイントにコメントが設定されているときは、トラック名表示部にコメントが表示されます。

キューポイントを確認する（キューポイントサンプラー）

1 キューポイントに戻る

☺ 「キューポイントに戻る」 (64 ページ)

2 [CUE] ボタンを押し続ける

[CUE] ボタンを押し続けている間、再生を続けます。

- ▶/⏸ ボタンを押すと、[CUE] ボタンを離しても再生を続けます。

キューポイントを保存する

1 キューポイントを設定する

☺ 「キューポイントを設定する」 (64 ページ)

2 [WAVEFORM] 画面で[▼] をタッチする

[MEMORY CUE] パネルが表示されます。



3 [MEM/DEL] をタッチする

- キュー待機中は、キュー待機中のポイントと保存されているキューポイントが一致している場合は、保存したキューポイントが削除されます。

保存したキューポイントを読み出す

1 キューポイントを読み出すトラックをロードする

2 [WAVEFORM]画面で[▼]をタッチする

[MEMORY CUE]パネルが表示されます。

3 [◀, ▶]をタッチする

- 読み出したポイントに rekordbox でコメントが設定されている場合は、トラック名表示部にコメントが表示されます。

保存したキューポイントを削除する

1 保存したキューポイントを読み出す

☞ 「保存したキューポイントを読み出す」(66 ページ)

2 [WAVEFORM]画面で[▼]をタッチする

[MEMORY CUE]パネルが表示されます。

3 [MEM/DEL]をタッチする

オートキューを設定する

トラックをロードしたときや頭出し（トラックサーチ）したときに、トラックの音声が始まる直前に（無音部を飛ばして）自動でキューポイントを設定します。

1 [WAVEFORM]画面で[▼]をタッチする

[MEMORY CUE]パネルが表示されます。

2 [AUTO CUE]をタッチしてオンにする

オートキューがオンになると、[▼]表示が[▼ AUTO]に変わります。

- 電源をオフにしてもオートキューの設定は保持されます。
- UTILITY設定の[Auto Cue Level]で、無音部として認識する音圧レベルを設定できます（108 ページ）。音圧レベルの設定値は、[MEMORY CUE]パネルに表示されます。

ループ

指定した区間を繰り返し再生します。

ループを設定する

- 1 [BEAT LOOP]ノブを回して、ループの長さの拍数を選択する
- 2 [BEAT LOOP]ノブを押す

トラックのBPMに合わせて、選択した拍数でループ再生を始めます。

- トラックのBPM が検知できないときは、BPM は 120 に設定されます。

ループの長さを調整する

ループを半分の長さにする

- 1 ループ再生中に[BEAT LOOP]ノブを左に回す

ループの長さが半分になります。

ループを2倍の長さにする

- 1 ループ再生中に[BEAT LOOP]ノブを右に回す

ループの長さが倍になります。

アクティブループを使う

あらかじめ rekordbox で、保存されたループの1つをアクティブループに設定してください。

1 アクティブループを設定したトラックをロードする

再生位置が設定ポイントを通過すると、自動でループ再生を開始します。

ループ再生を解除する

1 ループ再生中に [BEAT LOOP] ノブを押す

ループ再生が解除されます。

- [SHIFT] ボタンを押しながら [BEAT LOOP] ノブを押すと、設定されているループインポイントからループ再生を開始します。

エマージェンシーループ

本機は、トラックを再生し続けられなくなった場合の音切れを防ぐため、自動でビートループを設定します。

- エマージェンシーループ中は DJ プレイが制限されます。
- エマージェンシーループを解除するには、別のトラックをロードしてください。
- ファイルキャッシュが完了しているときは、エマージェンシーループが設定されずにそのまま制限つきで再生を継続します。

ループポイントを保存する

1 ループポイントを設定する

☑ 「ループを設定する」 (68 ページ)

2 [WAVEFORM]画面で[▼]をタッチする

[MEMORY CUE]パネルが表示されます。

3 [MEM/DEL]をタッチする

保存したループポイントを呼び出す

1 ループポイントを呼び出すトラックをロードする

2 [WAVEFORM]画面で[▼]をタッチする

[MEMORY CUE]パネルが表示されます。

3 [◀, ▶]をタッチする

- 呼び出したポイントに rekordbox でコメントが設定されている場合は、トラック名表示部にコメントが表示されます。

保存したループポイントを削除する

1 保存したループポイントを呼び出す

☞ 「保存したループポイントを呼び出す」(70 ページ)

2 [WAVEFORM]画面で[▼]をタッチする

[MEMORY CUE]パネルが表示されます。

3 [MEM/DEL]をタッチする

- アクティブループに設定されているループを削除した場合は、アクティブループも削除されます。

ホットキュー

ホットキュー（A～H）ボタンを押すと、瞬時に設定されているポイント呼び出し、再生を開始します。

記録メディア(SD, USB)に保存してあるホットキューは、トラックのロード時に自動で呼び出されます。

ホットキューを設定する

1 ホットキューを設定したい位置でホットキュー（A～H）ボタンのいずれかを押す

ホットキューが設定されます。

- ループ再生中の場合は、ループが設定されます。
- UTILITY設定の[**Overwrite Current Cue with Hot Cue**]が[On]のときは、同時にキューポイントとして設定されます（108 ページ）。
- 設定できるホットキューは、1曲につき8個までです。
- ホットキュー（A～H）表示（画面）は、設定されている内容によって以下のように点灯します。rekordboxで、色を変更することもできます。

設定されている内容	点灯色
キューポイント	緑
ループ	オレンジ
設定なし	点灯しない

- ホットキューが設定されているホットキュー（A～H）ボタンには、ホットキューを設定できません。新しく設定するには、設定されているホットキューを削除してください（73 ページ）。

ホットキューから再生する

- 1 ホットキューが設定されているホットキュー（A～H）ボタンのいずれかを押す

ホットキューの再生を開始します。

- UTILITY 設定の[**Overwrite Current Cue with Hot Cue**]が[On]のときは、同時にキューポイントとして設定されます（108 ページ）。
- ホットキュー（A～H）ボタンで開始したループ再生を解除するには、[**BEAT LOOP**]ノブを押します。

ホットキューを登録/削除する

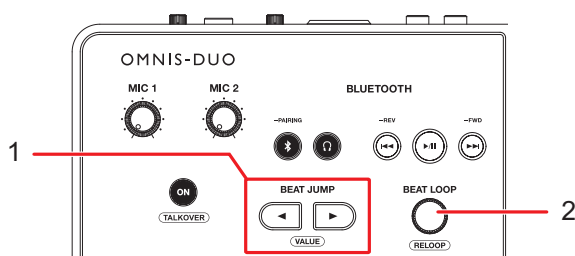
- 1 [**SHIFT**]ボタンを押しながら、ホットキュー（A～H）ボタンのいずれかを押す

ホットキューが登録または削除されます。

ビートジャンプ/ループムーブ

再生位置を、ボタンを押した位置から、設定した拍数でジャンプします。

BEAT セクション



1. BEAT JUMP ◀, ▶ ボタン

ボタンを押した位置から、設定されている拍数でジャンプします。

2. BEAT LOOP ノブ (68 ページ、69 ページ)

設定されている拍数を変更します。

ビートジャンプ/ループムーブを使う

1 再生中に[BEAT JUMP ◀, ▶] ボタンを押す

ボタンを押した位置から、設定されている拍数でジャンプします。

- ループ再生中の場合は、設定されている拍数でループが移動します。
- [SHIFT] ボタンを押しながら [BEAT JUMP ◀, ▶] を押す、または [BEAT LOOP] ノブを回すと、設定されている拍数を変更できます。

クオンタイズ（デッキ用）

キュー、ループインポイント、ループアウトポイント、ホットキューを設定する際に、ビートとタイミングがずれた場合でも、自動で最も近い拍位置にポイントを合わせます。

また、ホットキュー、ループなどをリズムを崩さずに使用できます。

- rekordbox で解析されていないトラックはクオンタイズ機能を使用できません。rekordbox でトラックを解析する方法については、rekordbox の操作説明書を参照してください（8 ページ）。
- クオンタイズに設定されている拍数は、[SETTINGS] 画面の [Quantize Beat Value] で設定できます（106 ページ）。
- クオンタイズに設定されている拍数は、デッキ情報パネルに表示されます。

クオンタイズを使う

- 1 [WAVEFORM] 画面でデッキ情報タブをタッチして、デッキ情報パネルを表示する
- 2 [QUANTIZE] をタッチしてオンにする

クオンタイズ機能がオンになると [QUANTIZE] アイコンが青色で表示されます。

- もう一度 [QUANTIZE] をタッチすると、クオンタイズ機能がオフになります。

ビートシンク

ビートシンクをオンにすると、本機のデッキで再生するトラックのテンポ(BPM)と拍位置を自動で合わせます。

- rekordbox で解析していないトラックはビートシンクできません。
- rekordbox for Mac/Windows をマスター（マスターデッキ）にすることもできます。詳細については、rekordboxの操作説明書を参照してください（8 ページ）。

ビートシンクを使う

1 マスターにするデッキで、rekordbox で解析済みのトラックを再生する

自動でマスターデッキとして決定され、[WAVEFORM]画面に[MASTER]が表示されます。

2 マスターにシンクさせるデッキで、rekordboxで解析済みのトラックを再生する

3 マスターにシンクさせるデッキで[SYNC]をタッチする

ビートシンクがオンになります。

- もう一度[SYNC]をタッチすると、ビートシンクがオフになります。
- TEMPO スライダーの位置(BPM)が再生テンポ(BPM)と一致していないときは、ビートシンクの再生テンポを維持しています。再度トラックをロードしなおすか、TEMPO スライダーを再生テンポに合わせると通常の動作に戻り、TEMPO スライダーでテンポコントロールできるようになります。

インスタントダブルスを使う

いずれかのデッキで再生中のトラックの再生位置と同じ位置から、もう一方のデッキで再生を開始します。

- 1 再生位置を合わせて再生を開始したいデッキの **[LOAD]** ボタン (**[LOAD 1]**または**[LOAD 2]**ボタン) を2回押す

ビートグリッド

拍位置（ビートグリッド）を調整します。

- rekordbox で解析していないトラックは調整できません。

ビートグリッドを調整する

1 [WAVEFORM]画面でロータリーセクターを長押しする

[WAVEFORM]パネルが表示されます。

- 拡大波形をロングタッチして[WAVEFORM]パネルを表示することもできます。

2 [GRID ADJUST]をタッチして、GRID ADJUSTパネルを表示する

3 ロータリーセクターを回して、ビートグリッドを調整する

- アクティブデッキのビートグリッドを調整することができます。
 - GRID ADJUSTパネルの以下を使って調整することでもできます。
 - [SNAP GRID(CUE)]：設定されているキューポイントに1拍目を移動します。
 - [SHIFT GRID]：同期中に調整した内容（ピッチベンドなど）を反映します。
 - [<1/2]、[1/2>]：1/2拍単位でビートグリッドを移動します。
- [RESET]をタッチすると、元のビートグリッドに戻ります。

クラウド

本機を無線LAN (Wi-Fi) ルーターを介してインターネットに接続すると、rekordbox CloudDirectPlay を利用することができます (121 ページ)。

rekordbox CloudDirectPlay

rekordbox CloudDirectPlay を利用すると、クラウドストレージにアップロードした楽曲ファイルを本機にロードし、再生することができます。

- 楽曲ファイルをクラウドストレージへアップロードするには、Cloud Library Sync を使用します。クラウドストレージにアップロードした楽曲ファイルは、お使いの PC/Mac やモバイルデバイス、または本機にロードして再生できます。
- Cloud Library Sync については、Cloud Library Sync 操作ガイドを参照してください。

rekordbox.com/manual

- クラウドを利用した楽曲管理などについては、下記のサイトも参照してください。

rekordbox.com

❖ rekordbox バージョン

本機で rekordbox CloudDirectPlay を使用するには、最新バージョンの rekordbox for Mac/Windows をインストールしてください。

❖ サブスクリプション

Free プランを含むすべてのプランで利用できます。

- プランの詳細については、下記のサイトのプランページを参照してください。

rekordbox.com

❖ クラウドストレージサービス

rekordbox CloudDirectPlay では、Cloud Library Sync で利用しているクラウドストレージサービス（Dropbox）を利用します。

- Cloud Library Sync と rekordbox CloudDirectPlay は Dropbox と Google Drive に対応しています。本機は Dropbox にのみ対応しています。Google Drive を利用している場合は、一度 rekordbox で Dropbox にログインして、楽曲ファイルを Dropbox にアップロードしてから利用してください。
- 詳細については、Cloud Library Sync 操作ガイドや rekordbox CloudDirectPlay 操作ガイドを参照してください。

rekordbox.com/manual

❖ 回線速度

ライブラリの同期や楽曲ファイルのロードにかかる時間は、お使いのインターネット回線の速度によって異なります。rekordbox CloudDirectPlay を使用するには、20 Mbps 以上の回線速度を推奨します。

❖ 個人利用について

rekordbox CloudDirectPlay では、個人の複数の PC/Mac やモバイルデバイス、本機で同じライブラリを利用できます。複数人で同じライブラリを共有することはできません。

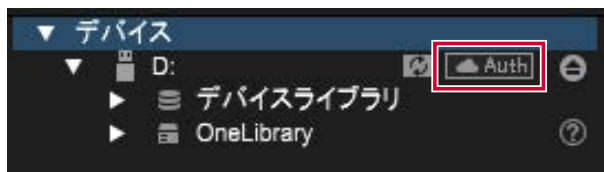
rekordbox CloudDirectPlay をはじめる

- 1 rekordbox for Mac/Windows で、画面右上の **[MY PAGE]** をクリックする
[MY PAGE] 画面が表示されます。
- 2 **[CLOUD]** タブをクリックする
- 3 **[Cloud Library Sync]** の **[他のデバイスとライブラリを同期する]** がオンになっていることを確認する
- 4 **[デバイス認証を利用する]** と **[rekordbox CloudDirectPlay を利用する]** をオンにする



クラウドサーバーで、ライブラリの変換を開始します。

変換が完了すると、ツリービューのデバイス名の右側に  **Auth** (認証ボタン) が表示されます。



- ライブラリ内の楽曲ファイル数によって、ライブラリの変換に時間がかかることがあります。
- ライブラリの変換がエラーになると、**[rekordbox CloudDirectPlay を利用する]** が自動でオフになります。繰り返し変換エラーが発生する場合は、下記のサイトからサポートへお問い合わせください。

rekordbox.com/

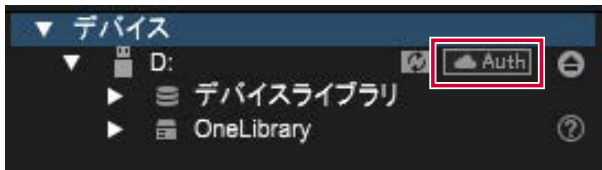
- **[rekordbox CloudDirectPlay を利用する]** をオフにすると、同一アカウントで利用しているすべてのデバイスの認証が解除されます。
- **[rekordbox CloudDirectPlay を利用する]** をオフにしてからオンにすると、再度ライブラリの変換が実行されます。

rekordbox CloudDirectPlay の認証用デバイス

本機に楽曲ファイルをロードして再生するには、認証用デバイス (SD, USB) が必要です。
rekordbox CloudDirectPlay の認証用デバイスとして使用する記録メディア (SD, USB) を PC/ Mac に接続して、認証操作を行います。

❖ 記録メディア (SD, USB) を認証する

- 1 記録メディア (SD, USB) を PC/Mac に接続する
- 2 ツリービューのデバイス名の右側にある  **Auth** (認証ボタン) をクリックする



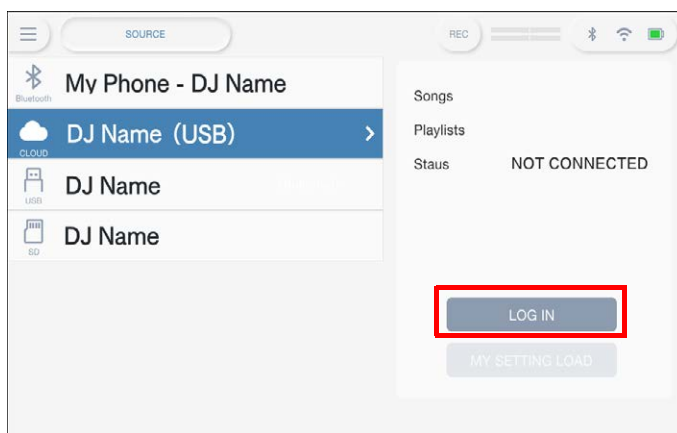
デバイスの認証が完了すると、 **Auth** (認証ボタン) が  (認証済みアイコン) になります。

rekordbox CloudDirectPlay へログインする

1 rekordbox CloudDirectPlayの認証用デバイス (SD, USB)を本機に接続する

有効な認証用デバイスを接続すると、[SOURCE]画面に認証用デバイス (SD, USB) 名が表示されます。

2 認証用デバイス (SD, USB) の情報表示部の[LOG IN]をタッチする



rekordbox CloudDirectPlay が利用可能になります。

rekordbox CloudDirectPlay で楽曲ファイルを再生する

[SOURCE] 画面で rekordbox CloudDirectPlay を選択しているときは、クラウドストレージにアップロードされている楽曲ファイルを本機のブラウザ画面から利用することができます。

- 楽曲ファイルのロードにかかる時間は、お使いのインターネット回線の速度によって異なります。ロードの進行状況は、[WAVEFORM] 画面の全体波形に表示されます。
- 以下の再生機能は、rekordbox CloudDirectPlay からロードした楽曲ファイルでのみ使用できます。
 - － メモリーキュー / ループ
 - － ホットキュー / ループポイント
- 楽曲ファイルはトラックリストから 1 つずつロードするため、Play Mode の Continue 機能は使用できません。
- rekordbox CloudDirectPlay では、以下の機能は使用できません。
 - － TOUCH Preview
 - － INTELLIGENT PLAYLIST
- rekordbox CloudDirectPlay へ接続中は、同一アカウントで利用しているほかの rekordbox CloudDirectPlay や Cloud Library Sync で変更した楽曲情報は反映されません。変更した内容を反映するには、rekordbox CloudDirectPlay にログインしなおしてください。

rekordbox CloudDirectPlay からログアウトする

- 1 [SOURCE] 画面で、認証用デバイス (SD, USB) の情報表示部の [LOG OUT] をタッチする

認証用デバイス (SD, USB) の認証を解除する

1 ツリービューのデバイス名の右側にある (認証済みアイコン) をクリックする

認証が解除されます。

- 認証用デバイス (SD, USB) が、rekordbox で利用しているアカウントと異なるアカウントで認証されている場合は、アカウントを切り替えてから認証を解除してください。
- 認証用デバイス (SD, USB) が他人のアカウントで認証されている場合は、以下のいずれかの方法で認証を解除してください。
 - ー 認証した本人の PC/Mac に認証用デバイス (SD, USB) を接続して認証を解除する
 - ー 認証した本人の PC/Mac から Web サイトにアクセスして認証を解除する (85 ページ)

❖ Web サイトでデバイスの認証を解除する

認証済みの認証用デバイス (SD, USB) を紛失した場合などは、Web サイトでデバイスの認証を解除することができます。

1 rekordbox for Mac/Windows で、画面右上の [MY PAGE] をクリックする

[MY PAGE] 画面が表示されます。

2 [CLOUD] タブをクリックする

3 [認証したデバイスを紛失した場合] をクリックする



お使いのブラウザにWebサイトが表示されます。

4 Webサイトの指示にしたがって、デバイスの認証を解除する

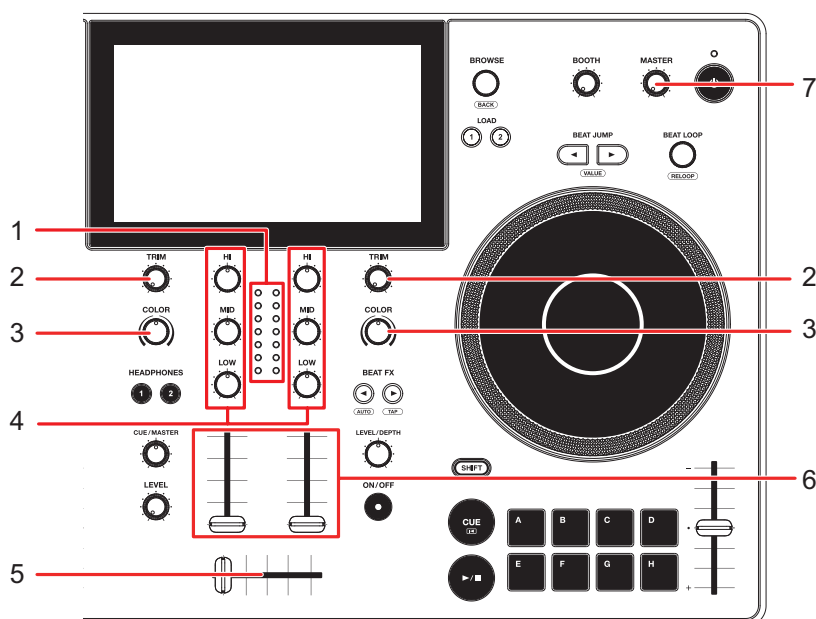
- ほかのアカウントの認証は解除できません。認証を解除したいデバイスのアカウントに切り替えてから実行してください。

音声出力

以下の操作を行って、音声を出力します。

- －「音声を出力する」(88 ページ)
- －「チャンネル音声の音質を調整する」(89 ページ)
- －「フェーダーを設定する」(89 ページ)

チャンネルセクション/マスターセクション



❖ チャンネルセクション

1. **チャンネルレベルインジケーター**
チャンネルフェーダー通過前の音量を表示します。
2. **TRIM ノブ**
チャンネルの入力音声の音量を調整します。
3. **COLOR ノブ** (97 ページ)
4. **EQ/ISO (HI, MID, LOW) ノブ**
各音域の音質を調整します。
各ノブで調整できる音域は以下のとおりです。

- **[HI]** : $-\infty$ dB $\sim$ + 6 dB (ISO)/-26 dB $\sim$ + 6 dB (EQ)
- **[MID]** : $-\infty$ dB $\sim$ + 6 dB (ISO)/-26 dB $\sim$ + 6 dB (EQ)
- **[LOW]** : $-\infty$ dB $\sim$ + 6 dB (ISO)/-26 dB $\sim$ + 6 dB (EQ)

5. クロスフェーダー

[SETTINGS]画面の[**Crossfader Curve**]で設定したカーブ特性にしたがって出力します (106 ページ)。

6. チャンネルフェーダー

[SETTINGS]画面の[**Channel Fader Curve**]で指定されているカーブ特性 (106 ページ) にしたがって、音声を出力します。奥側へスライドすると音量が上がり、手前へスライドすると音量が下がります。

❖ マスターセクション

7. MASTER LEVEL ノブ

マスター音声の音量を調整します。

音声を出力する

チャンネル入力音量を調整する

1 [TRIM] ノブを回して、入力音声の音量を調整する

音声が入力されると、チャンネルレベルインジケーターが点灯します。

チャンネル出力音量を調整する

1 チャンネルフェーダーを動かして、出力音声の音量を調整する

2 クロスフェーダーを動かして、出力音声を調整する

マスター音量を調整する

1 MASTER LEVELノブを回して、マスター音声の音量を調整する

マスター音声が出力されると、マスターレベルインジケーターが点灯します。

チャンネル音声の音質を調整する

1 EQ/ISO (HI, MID, LOW)ノブを回して、各音域の音質を調整する

- [SETTINGS]画面の[EQ/ISO]で、EQ/ISO (HI, MID, LOW)ノブで調整する機能（イコライザーまたはアイソレーター）を設定します（106 ページ）。

フェーダーを設定する

チャンネルフェーダーとクロスフェーダーを設定します。

チャンネルフェーダーを設定する

1 ランチャー画面で[SETTINGS]をタッチする

2 [Channel Fader Curve] でチャンネルフェーダーカーブを設定する

-  : 奥側で急峻に音が立ち上がります。
-  : 奥側にスライドすると、徐々に音が立ち上がります。
-  : 手前で急峻に音が立ち上がります。

🔍 「Channel Fader Curve」 (106 ページ)

クロスフェーダーを設定する

1 ランチャー画面で[SETTINGS]をタッチする

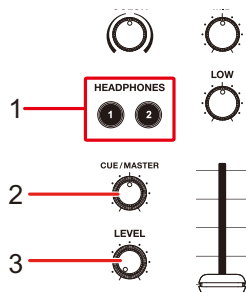
2 [Crossfader Curve]でクロスフェーダーカーブを設定する

- **THRU**：クロスフェーダーの位置に関わらず、DECK 1とDECK 2の両方の音声を出力します。
- ：クロスフェーダーを一方（DECK 1またはDECK 2）からスライドすると、もう一方に割り当てられている音が徐々に立ち上がります（例：DECK 1側から離れるとDECK 2側の音声が徐々に大きくなり、DECK 1側の音声が徐々に小さくなります）。
- ：クロスフェーダーを一方（DECK 1またはDECK 2）からスライドすると、もう一方に割り当てられている音が急峻に立ち上がります（例：DECK 1側から離れるとすぐにDECK 2側の音声が出力されます）。

🔍 「Crossfader Curve」（106 ページ）

音声モニター

ヘッドホンセクション



1. HEADPHONES 1, 2 ボタン

ヘッドホンから出力するチャンネルを選択します。

2. CUE/MASTER ノブ

[HEADPHONES 1, 2] ボタンで選択しているチャンネルの音声、TOUCH Preview の音声とマスターチャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

- チャンネルの音声、TOUCH Preview のみをモニターしたいときは左に、マスターチャンネルの音声のみをモニターしたいときは右に回しきってください。

3. LEVEL ノブ

ヘッドホンから出力する音量を調整します。

ヘッドホンで音声をモニターする

1 PHONES 端子にヘッドホンを接続する

🔊 「本体フロント部」(27 ページ)

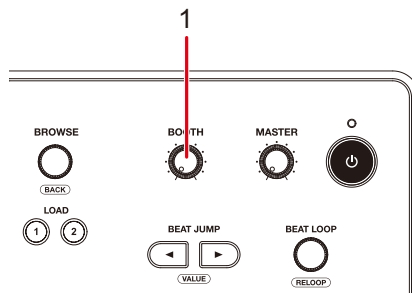
2 モニターしたいチャンネルの[CUE] ボタンを押す

- TOUCH Preview の音声をモニターする場合は、この操作は必要はありません。
- [SETTINGS] 画面の [Headphones] で、ヘッドフォンの出力音声 (MONO SPLIT/STEREO) を設定できます (106 ページ)。

3 [CUE/MASTER] ノブを回して、チャンネルとマスター音声の音量バランスを調整する

4 [LEVEL] ノブを回して、音量を調整する

BOOTH セクション



1. BOOTH LEVEL ノブ

BOOTH モニター音声の音量を調整します。

BOOTH モニターを使う

1 [BOOTH/MASTER 2]端子にBOOTHモニター用の機器を接続する

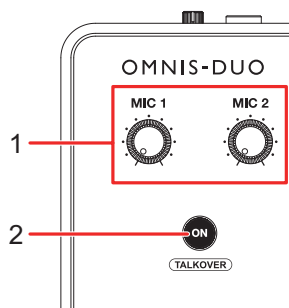
- [BOOTH/MASTER 2] は共用端子です。BOOTHとして利用する場合は、UTILITY 設定の[Booth/Master 2 Setting]を[Booth]に設定してください（109 ページ）。

🔍 「本体リア部」（28 ページ）

2 BOOTH LEVEL ノブを回して、出力音声の音量を調整する

マイク

MIC セクション



1. MIC1, MIC2 ノブ

[MIC 1]、[MIC 2]端子から入力する音量を調整します。

2. ON ボタン

マイク音声の出力を設定します。[SHIFT] ボタンを押しながら押すと、Talkover モードがオンになります。

長押しするとPUSH TO TALK機能がオンになり、押している間マイクがオンになります。

- ボタンインジケータは以下を示します。

- 消灯：マイクオフ
- 点灯：マイクオン
- 点滅：Talkover モードでマイクオン。マイクに音声が入力されると、マイクチャンネル以外の音量が -24 dB 減衰します。

マイクを使う

1 [MIC 1]または[MIC 2]端子にマイクを接続する

- お使いのマイクによって入力音声の増幅量（ゲイン）は異なります。DJ プレイ開始前に本体リア部の[ATT.]ノブで、お使いのマイクに合わせて音声レベルを調整してください（28 ページ）。

2 [ON] ボタンを押す

マイクがオンになります。

- もう一度押すとマイクがオフになります。
- [ON] ボタンを長押しするとPUSH TO TALK機能がオンになり、押している間マイクがオンになります。ボタンを離すとマイクがオフになります。

3 [MIC 1]または[MIC 2]ノブを回して、マイク音声の音量を調整する

- 右に回しすぎると、大音量で出力されます。ご注意ください。

4 ランチャー画面で[SETTINGS]をタッチする

[SETTINGS]画面が表示されます。

5 [MIC EQ (HIGH, LOW)]で各音域の音質を調整する

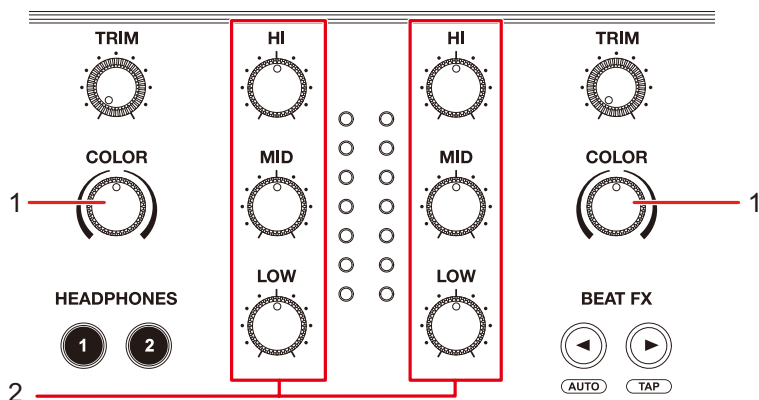
[MIC 1]、[MIC 2]端子から入力する音声の音質をタッチして調整します。調整できる音域は以下のとおりです。

- [HIGH] : -12 dB ~ +12 dB (10 kHz)
- [LOW] : -12 dB ~ +12 dB (100 Hz)

6 マイクに音声を入力する

SOUND COLOR FX

SOUND COLOR FX セクション



1. **COLOR ノブ**
FILTER やその他のエフェクトを調整します。
2. **EQ/ISO (HI, MID, LOW) ノブ** (87 ページ)

SOUND COLOR FX を使う

🔊 「SOUND COLOR FXの種類と設定方法」(98 ページ)

1 [WAVEFORM]画面で [FX] タブをタッチする

エフェクト情報パネルが表示されます。

2 [SOUND COLOR FX]をタッチする

SOUND COLOR FXパネルが表示されます。



3 使用するエフェクトをタッチする

選択したエフェクトのボタンが点灯し、CH 1/CH 2に選択したエフェクトが加わります。

4 [COLOR]ノブを回して、エフェクトを調整する

ノブを回したチャンネルの音声のエフェクトを調整します。

- もう一度使用中のエフェクトボタンをタッチすると、エフェクトがオフになります。
- エフェクトの量的パラメーターは自動的に調整されます。

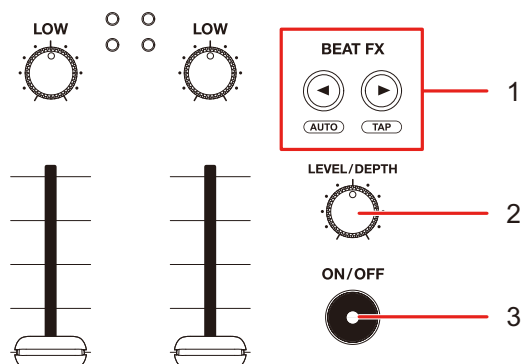
SOUND COLOR FXの種類と設定方法

ノブの操作で下記の内容をコントロールできます。

エフェクト / 操作	説明
SPACE	原音に残響効果を加えます。
• COLOR:	左に回す：中音域と低音域に残響効果を加えます。 右に回す：中音域と高音域に残響効果を加えます。
DUB ECHO	ディレイ音を減衰させながら数回出力して、反響効果を加えます。
• COLOR:	左に回す：中音域に反響効果を加えます。 右に回す：高音域に反響効果を加えます。
SWEEP	ゲート効果（タイトな音にして音量感を減らす）またはバンドパスフィルターの効果を加えます。
• COLOR:	左に回す：ゲート効果を加えます。 右に回す：バンドパスフィルターの帯域幅が徐々に狭くなります。
NOISE	フィルターに通したホワイトノイズを、チャンネルの音声とミックスして出力します。
• COLOR:	左に回す：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数を下げます。 右に回す：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数を上げます。
• EQ/ISO (HI, MID, LOW):	ノイズの音質
CRUSH	原音をクラッシュしたような音に変化させて出力します。
• COLOR:	左に回す：音声をクラッシュしたような効果を加えます。 右に回す：音声をクラッシュしてからハイパスフィルターの効果を加えます。
FILTER	フィルターを通した音声を出力します。
• COLOR:	左に回す：ローパスフィルターのカットオフ周波数を下げます。 右に回す：ハイパスフィルターのカットオフ周波数を上げます。

BEAT FX

BEAT FX セクション



1. BEAT ◀, ▶ ボタン

エフェクトの拍数を設定します。

- [SHIFT] ボタンを押しながら [▶] を押すと、BPM を設定できます。
- [SHIFT] ボタンを押しながら [◀] を押すと、AUTO 設定に戻ります。
- 本機の電源をオンにすると、AUTO モードに設定されます。

2. LEVEL/DEPTH ノブ

- 左に回しきると、原音が出力されます。

3. ON/OFF ボタン

BEAT FX をオン/オフします。オンになると、ボタンが点滅します。

BEAT FX を使う

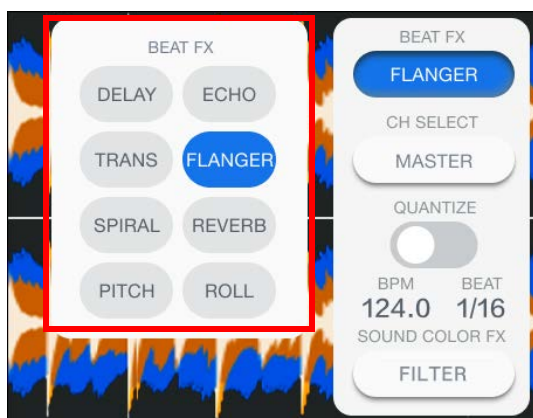
🕒 「BEAT FXの種類と設定方法」(103 ページ)

1 [WAVEFORM]画面で [FX] タブをタッチする

エフェクト情報パネルが表示されます。

2 [BEAT FX]をタッチする

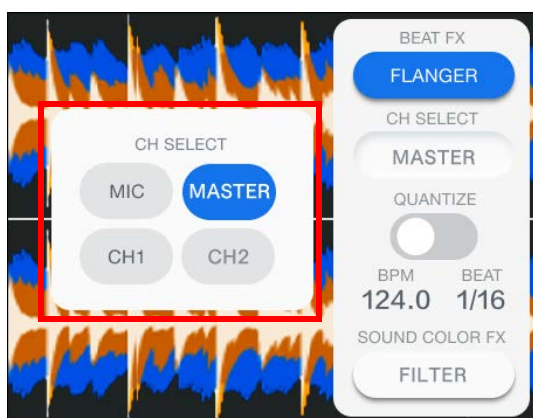
[BEAT FX]パネルが表示されます。



3 使用するエフェクトをタッチする

4 エフェクト情報パネルで、[CH SELECT]をタッチする

[CH SELECT]パネルが表示されます。



- 5 **BEAT FX**を加えるチャンネルをタッチする
- 6 **[BEAT ◀, ▶]** ボタンを押して、エフェクトを同期させる拍数を設定する
- 7 **[LEVEL/DEPTH]** ノブを回して、エフェクトを調整する
- 8 **[ON/OFF]** ボタンを押して、**BEAT FX**をオンにする
選択したチャンネルの音声に、選択したエフェクトを加えます。
 - もう一度**[ON/OFF]** ボタンを押すと **BEAT FX** がオフになります。

BPMを手動で設定する（TAPモード）

1 再生中の音声の拍に合わせて、[SHIFT] ボタンを押しながら [▶] を 2 回以上指でたたく

[▶] ボタンを指でたたいた間隔の平均値がBPM に設定されます。

- [▶] ボタンを使ってBPM を設定すると、1 拍の時間がエフェクトタイムに設定されます。
- [SHIFT] ボタンを押しながら [◀] を押すと、AUTO モードに戻り自動でBPM を取得します。

クオンタイズを使う（エフェクト用）

クオンタイズ機能を使用すると、BEAT FXの[ON/OFF] ボタンをラフに操作しても、rekordboxで解析された楽曲のGRID情報をもとに、再生中のトラックのテンポとずれることなくエフェクトを加えることができます。

- あらかじめrekordboxで楽曲を解析してください。rekordboxで楽曲ファイルを解析する方法については、rekordboxの操作説明書を参照してください（8 ページ）。

1 [WAVEFORM]画面で [FX] タブをタッチする

エフェクト情報パネルが表示されます。

2 [QUANTIZE] をタッチしてオンにする

BEAT FXの種類と設定方法

ボタンやノブの操作で下記の内容をコントロールできます。

BEAT FX/ 操作	説明
DELAY 1 2	拍数に合わせて、ディレイ音を1回出力します。
• BEAT ◀, ▶:	1/16～16拍のディレイタイム（拍数）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
ECHO 1 2	拍数に合わせて、ディレイ音を減衰させながら数回出力します。
• BEAT ◀, ▶:	1/16～16拍のディレイタイム（拍数）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
SPIRAL 1 2	入力音に残響効果を加えます。ディレイタイムの変化と同時に音程も変化します。
• BEAT ◀, ▶:	1/16～16拍のディレイタイム（拍数）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランスとフィードバック
REVERB 1 2	入力音に残響効果を加えます。
• BEAT ◀, ▶:	残響エフェクトの度合い（1～100%）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
TRANS	拍に合わせて、音声を周期的にカットします。
• BEAT ◀, ▶:	1/16～16拍のカットする周期（拍数）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランスと音声をカットする時間の長さ
FLANGER	拍に合わせて、1周期のフランジャー効果を加えます。
• BEAT ◀, ▶:	1/16～64拍のレート（拍数）
• LEVEL/DEPTH:	エフェクトの度合い

BEAT FX/ 操作	説明
PITCH	原音の音程を変化させます。
• BEAT ◀, ▶:	エフェクト音の基準となる音程 (-50~100%)
• LEVEL/DEPTH:	基準となる音程からのピッチ
ROLL	エフェクトをオンにしたときの入力音を記録し、記録した音を設定した拍数に合わせて繰り返し出力します。
• BEAT ◀, ▶:	1/16~16拍のエフェクト時間 (拍数)
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
① BEAT FXの[CH SELECT]でCH 1/CH 2を選択しているときは、そのチャンネルの[CUE]ボタンを押してもエフェクト音はモニターできません。 ② チャンネルフェーダーを [0] の位置に合わせて入力音を切ると、エフェクト音が残ります (エフェクトをオフにしたあともエフェクト音が残ります)。	

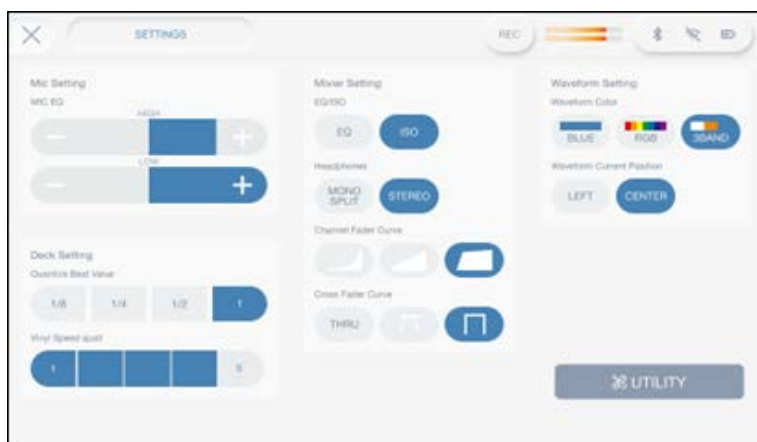
設定

[**SETTINGS**]画面やUTILITY設定、[**PORTABILITY**]画面で本機の設定を変更します。また、あらかじめMY SETTINGS（本機の機能設定）を記録メディア(SD, USB)に保存しておくと、DJ交代時などに設定を読み込んで、一括で本機に適用できます。

SETTINGS画面から設定を変更する

1 ランチャー画面で[**SETTINGS**]をタッチする

[**SETTINGS**]画面が表示されます。



2 設定値をタッチする

🔍 「SETTINGS 設定項目」（106 ページ）

- タイトル/ステータスバーの✕をタッチすると、[**SETTINGS**]画面を閉じます。

SETTINGS 設定項目

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
MIC	
MIC EQ HIGH	[MIC 1]、[MIC 2] 端子から入力する音声 (-12 dB ~ +12 dB (10 kHz)) の音質を調整します。
MIC EQ LOW	[MIC 1]、[MIC 2] 端子から入力する音声 (-12 dB ~ +12 dB (100 Hz)) の音質を調整します。
DECK	
Quantize Beat Value	クオンタイズの拍数を設定します。 • 設定値：1/8、1/4、1/2、1*
Vinyl Speed Adjust	VINYLモードの再生と停止の速度を設定します (62 ページ)。 • 設定値：1、2、3*、4、5
MIXER	
EQ/ISO	EQ/ISO (HI, MID, LOW) ノブで調整する機能（イコライザーまたはアイソレーター）を設定します。 • 設定値：EQ*、ISO
Headphones	ヘッドホン出力の [Mono Split] と [Stereo] を切り替えます。 • 設定値：MONO SPLIT、STEREO*
Channel Fader Curve	チャンネルフェーダーカーブを設定します (89 ページ)。 • 設定値：  Curve1、  Curve2*、  Curve3
Crossfader Curve	クロスフェーダーカーブを設定します (90 ページ)。 • 設定値：THRU、  Curve2、  Curve3*
WAVEFORM	
Waveform Color	波形の色を変更します。 • 設定値：BLUE、RGB、3BAND*

設定項目	説明
Waveform Current Position	拡大波形に表示する現在再生位置（中央または左側）を設定します。 • 設定値：LEFT*、CENTER

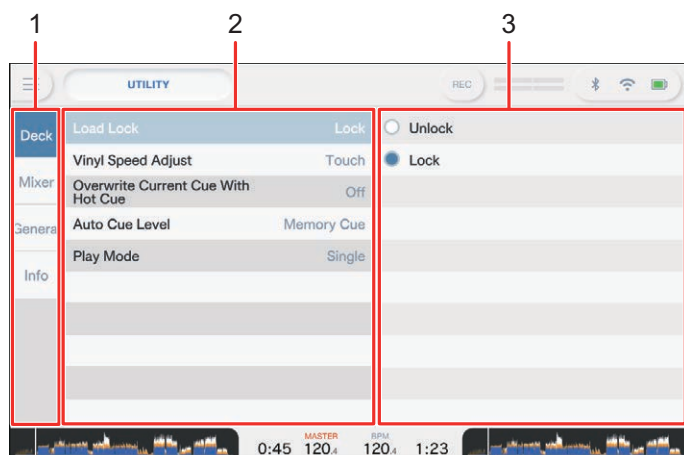
UTILITY 画面から設定を変更する

1 ランチャー画面で[SETTINGS] をタッチする

[SETTINGS]画面が表示されます。

2 [UTILITY] をタッチする

[UTILITY]画面が表示されます。



1. カテゴリー
2. 設定項目と現在設定値表示
3. 設定値

3 カテゴリーを選択する

4 設定項目を選択する

☛ 「UTILITY 設定項目」 (108 ページ)

5 設定値を選択する

- タイトル/ステータスバーの✕をタッチすると、[UTILITY]画面を閉じます。

UTILITY 設定項目

❖ DECK

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
Load Lock	再生中にほかのトラックのロードを可能とするかどうかを設定します。 設定値：Unlock*、Lock
Vinyl Speed Adjust	VINYLモードの再生と停止の速度の調整方法を設定します（62 ページ）。 設定値：Touch&Release、Touch*、Release
Overwrite Current Cue with Hot Cue	ホットキュー / ループを設定する、またはホットキュー / ループから再生を開始すると、そのポイントが新しいキューポイントとして設定されます（72 ページ、73 ページ）。 設定値：Off*、On
Auto Cue Level	オートキューで無音部として認識する音圧レベルを設定します。 - 設定値：-78dB、-72dB、-66dB、-60dB、-54dB、-48dB、-42dB、-36dB、Memory Cue*、Hot Cue [Memory Cue]：保存されているキュー / ループポイントのうち、トラックの開始位置に最も近いポイントをオートキューのキューポイントに設定します。 [Hot Cue]：保存されているホットキュー / ループポイントのうち、トラックの開始位置に最も近いポイントをオートキューのキューポイントに設定します。 オートキューがオンになると、[WAVEFORM]画面の[▼]が[▼ AUTO]に変わります。

設定項目	説明
	トラックの再生方法を変更します。
	設定値：Continue、Single*
Play Mode	[Continue]：トラックの終わりに到達すると自動で次のトラックをロードします。 [Single]：トラックの終わりに到達すると再生が停止します。次のトラックは自動でロードされません。

❖ MIXER

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
Master 1 Attenuator	[MASTER 1] 端子から出力する音声の減衰レベルを設定します。 設定値：-12dB、-6dB、0dB*
Master/Booth Output	[MASTER] と [BOOTH/MASTER 2] 端子から出力する音声の [Stereo] と [Mono] を切り替えます。 設定値：Stereo*、Mono
Booth/Master 2 Attenuator	[BOOTH/MASTER 2] 端子から出力する音声の減衰レベルを設定します。 設定値：-12dB、-6dB、0dB*
Booth/Master 2 Setting	[BOOTH/MASTER 2] 端子から出力する音声を切り替えます。 設定値：Booth*、Master
Mic Output to Booth	マイクの音声を [BOOTH] 端子に出力するかどうかを設定します。 設定値：Off、On*
Mic Output to Master REC	マイクの音声を MASTER REC（録音音声）に出力するかどうかを設定します。 設定値：Off、On*
Mic Output to USB Output	マイクの音声を USB 端子 (Type-C) に出力するかどうかを設定します。 設定値：Off、On*

設定項目	説明
Mixer Mode	PC 接続時の音声出力を切り替えます。 設定値：OMNIS-DUO、MIDI Control*

❖ GENERAL

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
Language	画面表示言語を設定します。
Time Zone	タイムゾーンを設定します。 設定値：-12:00～+14:00、±0:00(UTC)*
Wi-Fi Frequency	Wi-Fi の周波数帯域を設定します。 - 設定値：5GHz (Recommended)*、2.4GHz/5GHz - 通信が安定している 5GHz 帯の利用を推奨します。 - 設定を変更する場合は、Wi-Fi を [OFF] にしてください (121 ページ)。
Font Size (Track List)	ブラウズ画面と SEARCH 画面のリストの文字サイズを設定します。 設定値：Normal*、Large
Screen Saver	スクリーンセーバーを設定します。 - 設定値：Off、On* [On] に設定すると、以下のときにスクリーンセーバーが起動します。 - 本機にトラックがロードされていない状態で5分以上何も操作されないとき - 一時停止、キュー待機状態、またはトラックの終わりに到達した状態のまま100分以上何も操作されないとき - 本機を操作するとスクリーンセーバーは解除されます。
Power Management	パワーマネジメント機能を設定します (111 ページ)。 設定値：Never、20min*

設定項目	説明
Default	本機の設定をお買い上げ時の設定に戻します。 設定値：Cancel*、Ok

◆ INFO

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
Version No.	本機のソフトウェアバージョンを表示します。
Wi-Fi Address	無線 LAN (Wi-Fi) の MAC アドレスを表示します。
Serial No.	本機のシリアルナンバーを表示します。
Battery Serial No.	内蔵バッテリーのシリアルナンバーを表示します。
License	本機のライセンスに関する情報を表示します。

パワーマネジメント機能

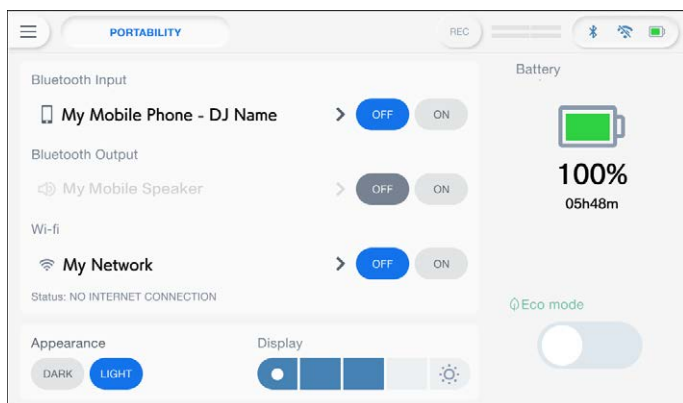
[Power Management] を [20min] に設定しているときに、本機に音声信号が入力されていない状態で本機を操作せずに 20 分経過すると、自動的に電源がオフになります。

- 本機は、パワーマネジメント機能を [20min] に設定して出荷しています。
- パワーマネジメント機能を使用しないときは [Never] に設定してください。
- パワーマネジメント機能を [Never] にすると、より多くの電力を消費します。

PORTABILITY画面から設定を変更する

1 タイトル/ステータスバーのステータス表示をタッチする

[PORTABILITY]画面が表示されます。



2 設定値を選択する

☰ 「PORTABILITY画面の設定項目」 (113 ページ)

- タイトル/ステータスバーの✕をタッチすると、[PORTABILITY]画面を閉じます。

PORTABILITY画面の設定項目

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
Bluetooth Input	モバイルデバイスなどからの音声入力の設定をします。 - 設定値：OFF*、ON [Bluetooth Input] または [Bluetooth Output] のどちらか一方を [ON] に設定できます。
Bluetooth Output	モバイルスピーカーなどへの音声出力の設定をします。 - 設定値：OFF*、ON [Bluetooth Input] または [Bluetooth Output] のどちらか一方を [ON] に設定できます。
Wi-Fi	無線 LAN (Wi-Fi) のオン / オフを設定します。 設定値：OFF*、ON
Appearance	画面表示モードをダークモードまたはライトモードに変更します。 設定値：DARK、LIGHT*
Display	液晶表示画面の明るさを調整します。 設定値：1、2、3*、4、5
バッテリー表示	バッテリーの残量および、おおよそのプレイ可能な時間を表示します。
Eco mode	オンにすると、Bluetooth 接続や無線 LAN (Wi-Fi) の利用を制限し、表示の明るさを下げて電力消費を抑えます。

記録メディア (SD, USB) から MY SETTINGS を読み込む

記録メディア (SD, USB) に保存されている MY SETTINGS の設定を、本機に読み込みます。

- PRO DJ LINK で接続している rekordbox や、rekordbox CloudDirectPlay から読み込むこともできます。

1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

☞ 「メディアの挿入と取り外し」 (41 ページ)

2 ランチャー画面で [SOURCE] をタッチする

[SOURCE] 画面が表示されます。

3 ソースを選択する

4 ソース情報の [MY SETTINGS LOAD] をタッチする

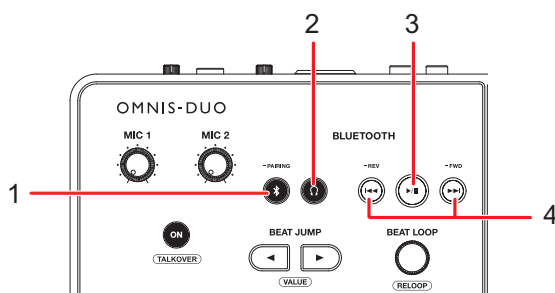
MY SETTINGS 設定を本機に読み込みます。

- 再生中は実行できません。一時停止してください。

Bluetooth® 接続

Bluetooth接続によって、モバイルデバイスなどの音声を本機に入力することができます。また本機の音声をモバイルスピーカーなどに出力することもできます。

Bluetooth 入力セクション



1. -PAIRING ボタン

長押しすると、Bluetooth機器とペアリングを行います。

2. Bluetooth 符号 ボタン

Bluetooth機器の音声をヘッドホンで聞くことができます。

3. ▶/|| ボタン

Bluetooth機器の音声を再生/一時停止します。

- お使いのBluetooth機器によっては、このボタンは使用できないことがあります。

4. ◀◀/▶▶ ボタン

Bluetooth機器の音声を早戻し/早送りします。

- [◀◀] を押すと、再生中のトラックの先頭に戻ります。2 回続けて押すと、ひとつ前のトラックの先頭にジャンプします。
- [▶▶] を押すと、次のトラックの先頭にジャンプします。
- お使いのBluetooth機器によっては、このボタンは使用できないことがあります。

モバイルデバイスなどと接続する（Bluetooth入力）

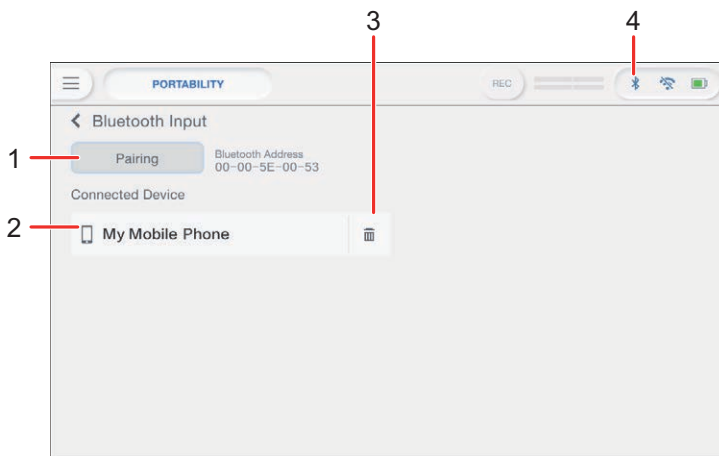
1 タイトル/ステータスバーのステータス表示をタッチする

[PORTABILITY]画面が表示されます。

2 [Bluetooth Input]の[ON]をタッチしてオンにする

3 [Bluetooth Input]の➤をタッチする

[Bluetooth Input Setting]画面が表示されます。



1. **Pairing**
2. **接続機器名**
3. **🗑️ (REMOVE DEVICE)**
4. **📶 (Bluetooth 接続アイコン)**

4 [Pairing]をタッチする

本機がペアリング状態になります。

- [-PAIRING] ボタンを長押ししてペアリング状態にすることもできます。
- ペアリング状態中は、Bluetooth接続アイコンが点滅します（約120秒間）。

5 Bluetooth 機器でペアリング操作を行う

6 本機から接続許可の操作を行う

接続が完了すると、Bluetooth接続アイコンが点滅から点灯に変わります。

- 本機がペアリング状態の間（約 120 秒間）に、Bluetooth 機器側でペアリング操作を行ってください。120 秒以内にペアリングできなかった場合、Bluetooth接続アイコンは、グレーに変わります。
- Bluetooth機器のペアリング操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書を参照してください。
- 本機に登録できるBluetooth 機器は 1 台です。登録済みの機器とは別の機器をペアリングすると、登録情報は上書きされます。もう一度登録するには、ペアリングの操作を行ってください。
- 本機にBluetooth 機器を登録済みのときは、 をタッチするとほかのBluetooth 機器とペアリングすることができます。

7 [SOURCE]画面でBluetooth機器を選択し、[Send to]を[DECK]または[MIXER]に設定する

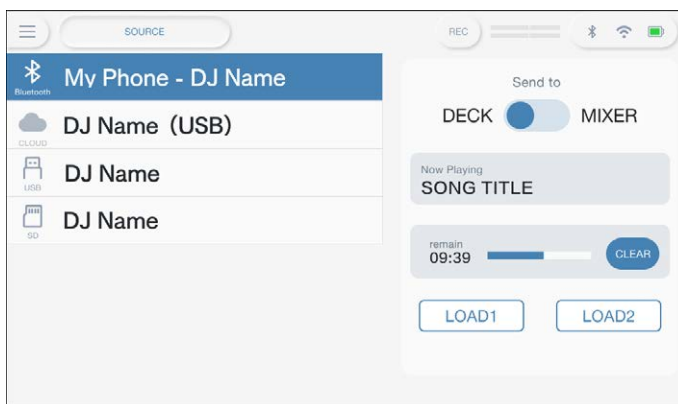
- [DECK]のときは、Bluetooth機器の音声でDJ演奏をすることができます（118 ページ）。
- [MIXER]のときは、選択したチャンネルからBluetooth機器の音声が出力されます。
- [MIXER]のときは、アサインする[CH1]、[CH2]ボタンが表示されます。
- いずれかのチャンネルにアサインすることができます。

モバイルデバイスなどの音声でDJ演奏をする (Bluetooth Playback)

入力されたBluetooth機器の音声を使ってDJ演奏することができます。

1 [SOURCE]画面でBluetooth機器を選択し、[Send to]を[DECK]に設定する

DJ演奏可能な範囲（最大10分間）がメーター表示されます。



2 [LOAD 1]または[LOAD 2]をタッチする

ロードされたデッキでUSBストレージデバイスなどのトラックと同様にDJ演奏することができます。

- [DECK]のときは、デッキにロードする[LOAD 1]、[LOAD 2]ボタンが表示されます。
- いずれかのデッキにロードしてDJ演奏することができます。
- [CLEAR]をタッチすると、DJ演奏可能な範囲をクリアします。
- タイトル/ステータスバーからもロードを行うことができます。

3 本機のBluetooth入力セクションのボタンでBluetooth機器を操作する

- 接続しているBluetooth機器が対応している機能进行操作することができます。

モバイルスピーカーなどと接続する（Bluetooth出力）

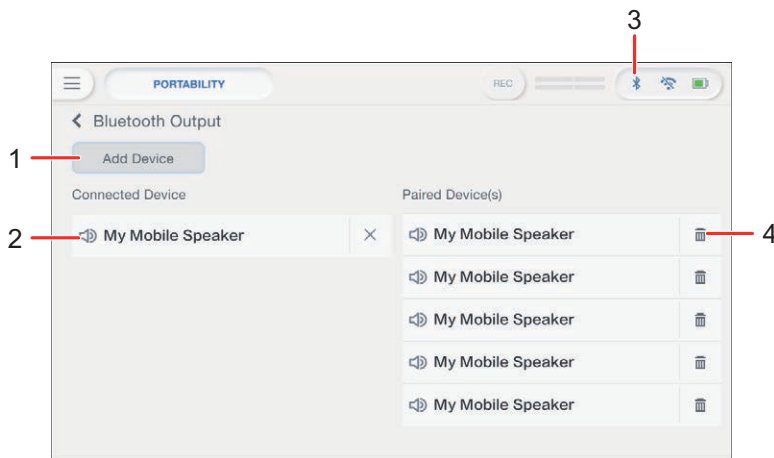
- 1 タイトル/ステータスバーのステータス表示をタッチする

[PORTABILITY]画面が表示されます。

- 2 [Bluetooth Output]の[ON]をタッチしてオンにする

- 3 [Bluetooth Output]の▶をタッチする

[Bluetooth Output Setting]画面が表示されます。



1. Add Device ボタン
2. 接続機器名
3. Bluetooth 接続アイコン
4. REMOVE DEVICE

- 4 [Add Device]をタッチする

本機がペアリング状態になります。

- ペアリング状態中は、Bluetooth接続アイコンが点滅します（約60秒間）。

- 5 Bluetooth機器でペアリング操作を行う

- 6 本機から接続許可の操作を行う

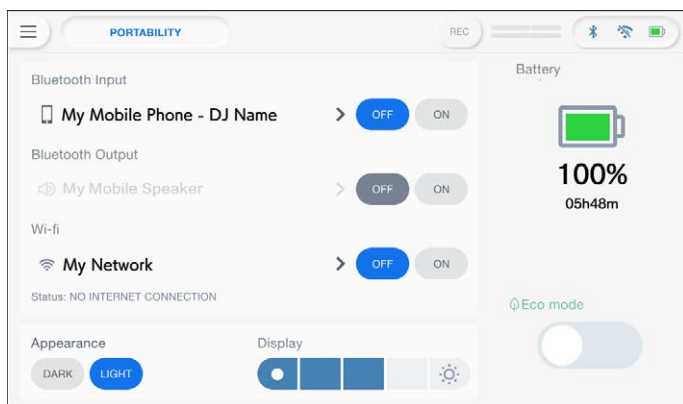
接続が完了すると、Bluetooth接続アイコンが点滅から点灯に変わります。

- 接続する機器によってパスコードの入力などが必要な場合があります。画面の指示に従って接続してください。
- 本機がペアリング状態の間（約60秒間）に、Bluetooth 機器側でペアリング操作を行ってください。60秒以内にペアリングできなかった場合、Bluetooth接続アイコンは、グレーに変わります。
- Bluetooth機器のペアリング操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書を参照してください。
- 本機に登録済みのBluetooth機器は、Bluetoothがオンであれば自動的に接続されます。
- 本機に登録できるBluetooth 機器は5台です。登録済みの機器とは別の機器をペアリングすると、一番古い機器の登録情報は上書きされます。もう一度登録するには、ペアリングの操作を行ってください。
- 本機に登録済みのBluetooth機器は、 をタッチすると削除することができます。

無線 LAN (Wi-Fi®) 接続

1 タイトル/ステータスバーのステータス表示をタッチする

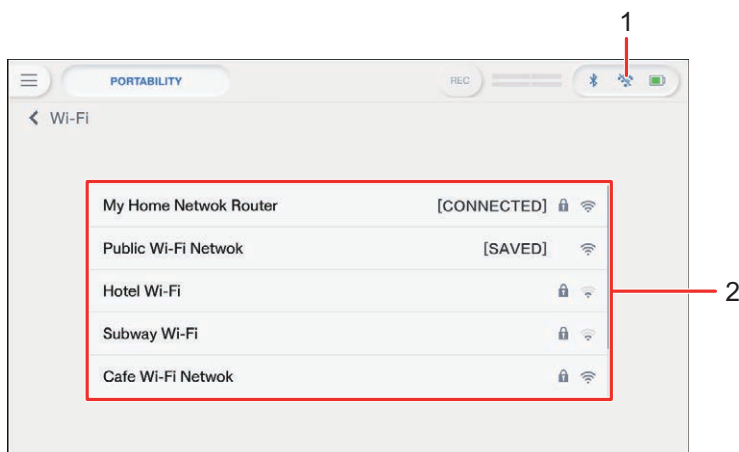
[PORTABILITY]画面が表示されます。



2 [Wi-Fi]の[ON]をタッチしてオンにする

3 [Wi-Fi]の をタッチする

ネットワークの検索を開始し、利用可能なネットワーク名(SSID)の一覧を表示します。



1. (Wi-Fi 接続アイコン)

2. SSID 一覧

4 利用するネットワーク名 (SSID) をタッチする

パスワード入力画面が表示されます。

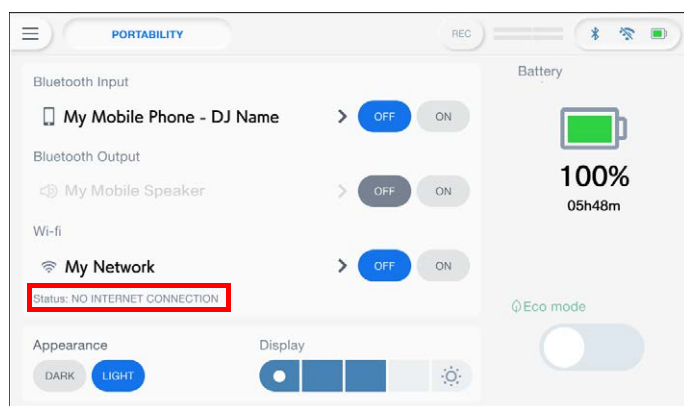
5 パスワードを入力して、[CONNECT]をタッチする

接続に成功すると、利用するネットワーク名(SSID)に[CONNECTED]が表示され、SSID一覧の先頭に表示されます。

- 以前利用したことのあるネットワークの場合は、この操作は必要ありません。
- 利用中のネットワーク名(SSID)をタッチすると、ネットワーク情報画面が表示され、ネットワーク情報を確認できます。ネットワーク情報画面の[AUTO-CONNECT]をオンにすると、次回から自動的に接続を開始します。
- 本機に登録済みのネットワーク名(SSID)を削除するには、SSID一覧画面に表示される[SAVED NETWORKS]のボタンをタッチします。一覧から削除するネットワーク名(SSID)を選択して、ネットワーク情報画面の[FORGET THIS NETWORK]をタッチします。
- ステルスネットワークに手動で接続する場合は、SSID一覧画面の最後に表示される[MANUAL INPUT]をタッチします。接続するネットワーク名(SSID)などを入力すると、接続を開始します。

インターネット接続を確認する

本機の[PORTABILITY]画面で、Wi-Fi接続のステータス表示を確認します。



- [NO INTERNET CONNECTION]と表示されているときは、インターネットに接続されていません。ネットワーク接続を確認してください。

DJソフトウェアを使う

MIDI 対応のソフトウェアをインストールした PC/Mac を USB ケーブルを使って接続すると、本機から DJ ソフトウェアを操作できます。

- 本機で PC 上のトラックを再生するには、お使いの PC にあらかじめ専用オーディオドライバーソフトウェアをインストールしてください（20 ページ）。Mac をお使いの場合は、専用オーディオドライバーソフトウェアのインストールは必要ありません。
- 本機の MIDI メッセージについては、下記のサイトを参照してください。

alphatheta.com/support/Japan/

- お使いの PC/Mac に、あらかじめ DJ ソフトウェアをインストールし、オーディオおよび MIDI の設定を行ってください。
- rekordbox をお使いの場合は、MIDI の設定は必要ありません。
- 本機と PC/Mac は、直接 USB ケーブルで接続することを推奨します。USB ハブを使用する場合は、お使いになる PC/Mac のメーカー推奨製品を使用してください。すべての USB ハブの動作を保証するものではありません。

DJソフトウェアを操作する

1 本機と PC/Mac を接続する

🔌 「本体リア部」（28 ページ）

2 ランチャー画面で[SOURCE]をタッチする

[SOURCE]画面が表示されます。

3 [SOFTWARE CONTROL]を選択する

[SOFTWARE CONTROL]画面が表示されます。

4 [LOAD 1]または[LOAD 2]ボタンを押す

ボタンを押したデッキ部がコントロールモードに切り替わります。

5 DJソフトウェアを起動する

DJソフトウェアを使う

DJソフトウェアとの通信を開始します。

- ボタンによっては、DJソフトウェアの操作に使用できないことがあります。
- 通信中の DJ ソフトウェア以外のデバイスからトラックをコントロールモードオンのデッキにロードすると、コントロールモードがオフになります。

スペック

仕様

ACアダプター

電源	AC 100 V ~ 240 V、50 Hz/60 Hz
定格電流	1.2 A
定格出力	DC 5 V/3.0 A、DC 9 V/3.0 A、DC 12 V/3.0 A、 DC 15 V/3.0 A、DC 20 V/2.25 A

本体一般

定格電圧/定格電流	DC 5 V/3.0 A、DC 9 V/3.0 A、DC 15 V/3.0 A、DC 20 V/3.0 A
待機時消費電力 (OFF時)	0.3 W
本体質量	4.6 kg
最大外形寸法	(W × D × H) 500 × 307 × 71 mm
許容動作温度	+5 °C ~ +35 °C
許容動作湿度	5 % ~ 85 % (結露のないこと)

バッテリー部

容量	47.52 Wh (内蔵充電式リチウムイオン電池)
再生時間	約 5時間 ^{*1}
充電時間	約 3時間 (25°C) ^{*2}
充電推奨温度	+10 °C ~ +35 °C ^{*3}

*1 使用条件や、内蔵充電電池の状態などにより異なります。

*2 付属のACアダプターを使用した場合の充電時間の目安です。

空の状態から満充電にかかる時間です。使用条件により異なります。

*3 使用の状況により充電開始に時間がかかる場合があります。

オーディオ部

サンプリングレート	44.1 kHz
A/D, D/Aコンバーター	24bit
周波数特性	
USB, SD, MIC 1, MIC 2	20 Hz ~ 20 kHz
S/N比 (定格出力時、A-WEIGHTED)	
USB, SD	112 dB
MIC	82 dB
全高調波歪率 (20 Hz ~ 20 kHz BW)	
USB, SD	0.003 %

基準入力レベル/入力インピーダンス

MIC.....-57 dBu/3.3 kΩ

基準出力レベル/負荷インピーダンス/出力インピーダンス

MASTER 1 +6 dBu/10 kΩ/390 Ω以下

MASTER 2/BOOTH +2 dBu/10 kΩ/390 Ω以下

PHONES +8 dBu/32 Ω/2 Ω以下

定格出力レベル/負荷インピーダンス

MASTER 1 +25 dBu/10 kΩ

MASTER 2 +21 dBu/10 kΩ

チャンネルイコライザー特性

HI.....-26 dB ~ +6 dB (20 kHz)

MID.....-26 dB ~ +6 dB (1 kHz)

LOW.....-26 dB ~ +6 dB (20 Hz)

マイクイコライザー特性

HI.....-12 dB ~ +12 dB (10 kHz)

LOW.....-12 dB ~ +12 dB (100 Hz)

入力/出力端子

MIC入力端子

XLRコネクター & 1/4"TRSジャック 1系統

1/4"TRSジャック 1系統

MASTER 1出力端子

XLRコネクター 1系統

MASTER 2/BOOTH出力端子

RCAピンジャック 1系統

PHONES出力端子

1/4"ステレオジャック 1系統

3.5 mm ステレオミニジャック 1系統

USB端子

USB Type-A 1系統

電源供給 5 V/1 A以下

USB Type-C 1系統

電源入力 USB PD 45 W

USB Type-C 1系統

SDカードスロット

ファイルシステム SD/SDHC/SDXC規格に準拠

最大容量 2 TB

無線 LAN 部

対応規格..... IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
 使用周波数帯域..... 2.4 GHz/5 GHz 帯

Bluetooth 部

無線方式..... Bluetooth Ver.5.2
 最大通信距離..... 見通しの良い状態で約 20 m*
 使用周波数帯域..... 2.4 GHz 帯
 対応コーデック..... SBC、AAC

* 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

本機および付属ソフトウェアの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

本機は、すべての無線 LAN および Bluetooth 機能搭載機器との接続動作を保証するものではありません。

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目および、AlphaTheta サポートページから [OMNIS-DUO] の [よくある質問(FAQ)] を確認してください。

alphatheta.com/support/Japan/

- 本機と接続している機器も確認してください。
- 電源を入れなおすと正常に動作することがあります。
- 電源ボタンを約15秒間押し続けると、電源を強制的にオフすることができます。強制オフすると、本機の管理データが消去されたり、記録メディア (SD, USB) を読み込めなくなることがあります。

それでも正常に動作しないときは、「使用上のご注意」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

エラー表示

❖ E-8302（エラータイプ：CANNOT PLAY TRACK）

- 記録メディア内の楽曲ファイルを正常に読み取れません。楽曲ファイルが破損している可能性があります。
本機で再生可能なフォーマットのファイルを再生できる別のプレーヤーなどを使って、再生できるかを確認してください。

❖ E-8304/E-8305（エラータイプ：UNSUPPORTED FILE FORMAT）

- 本機が対応していないフォーマットの楽曲ファイルがロードされています。本機が対応しているフォーマットの楽曲ファイルを使用してください（14 ページ）。

無線 LAN (Wi-Fi)

❖ 無線 LAN ルーター（アクセスポイント）に接続できない

- ネットワーク名 (SSID)、パスワード、暗号化方式が正しく設定されているか確認してください。ネットワークの設定と本機の設定を合わせてください。

❖ 無線LANルーター（アクセスポイント）が見つからない

- 本機と無線LANルーター（アクセスポイント）の距離が離れている場合は、距離を近づけてください。
- 本機と無線LANルーター（アクセスポイント）の間に障害物がある場合は、障害物を取り除いてください。

Bluetooth

❖ 本機とBluetooth機器を接続できない

- 本機とBluetooth機器の電源を入れ直してから、再度ペアリング操作を行ってください。

❖ 音が途切れる

- 本機とBluetooth機器の距離が離れている場合は、距離を近づけてください。
- 本機とBluetooth機器の間に障害物がある場合は、障害物を取り除いてください。
- Bluetooth接続と無線LAN (Wi-Fi) 機能を同時に使用する場合は、電波が干渉することがあるため、無線LAN (Wi-Fi) 機能をオフにするか、UTILITY設定の[Wi-Fi Frequency]を[5GHz (Recommended)]に設定してください。

rekordbox CloudDirectPlay

❖ 楽曲が表示されない、楽曲のロードができない

- rekordbox for Mac/Windows または rekordbox for iOS/Android と、クラウドのライブラリの同期が完了していない場合は、ブラウザ画面に楽曲が表示されません。同期が完了してから使用してください。
- Dropboxに楽曲がアップロードされているか確認してください。ブラウザ画面には、Dropboxにアップロードした楽曲ファイルのみが表示されます。また、アップロードが完了していない場合は、楽曲ファイルをロードできません。あらかじめ、使用したい楽曲ファイルをDropboxへアップロードしてから使用してください。rekordbox for Mac/Windows、rekordbox for iOS/Androidを使ってアップロードできます。
- Dropboxのメンテナンス中や障害発生中は、楽曲ファイルをロードできません。メンテナンス完了後や復旧後に、使用してください。メンテナンスや障害の発生状況は、以下のDropboxのWebサイトから確認できます。

<https://status.dropbox.com/>

❖ 記録メディア (SD, USB) の容量が足りない

- rekordbox CloudDirectPlay では、Dropbox からロードした楽曲ファイルを記録メディア (SD, USB) に一時的に保存します。快適に使用するには 1 GB 以上の空き容量を推奨します。

記録メディア (SD, USB)

❖ プレイリストが表示されない、または「rekordbox OneLibrary (Device Library Plus) が見つかりません。」と表示される

- 記録メディア (SD, USB) を OneLibrary 形式に一度変換しているか確認してください (17 ページ)。
- 本機は、OneLibrary 形式にのみ対応しています。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が現れることがありますが、液晶特有の現象で故障ではありません。
- 寒い場所で使用する際は、本機の電源をオンにしたあと液晶画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たって画面表示が見えにくいときは、直射日光をさえぎってください。

クリーニングについて

液晶画面が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

- 有機溶剤・酸・アルカリ類は使用しないでください。

タッチディスプレイについて

- 操作は指で行い、無理な力をかけないでください。
- 指以外の物、特にボールペン、シャープペンシル、とがった爪先など、先端の硬い物や先端の鋭利なもので操作しないでください。

バッテリーについて

充電に関する注意

❖ バッテリー

- 長期間使用しない場合は、バッテリーの劣化を防ぐため、半年に一度は50%程度まで充電してください。
- 長期間使用しなかったときは、充電時間が長くなる場合があります。
- バッテリー残量が十分でないときは、電源ボタンを押しても電源が入らないことがありますが、ACアダプター（電源コード）を接続してしばらく充電すると、電源が入るようになります。
- AC アダプター（電源コード）を接続していても、バッテリー残量が十分でない場合、電源ボタンを押したときにボタンが10秒間点灯して電源オンできないことがあります。しばらく充電し、再度電源をオンにしてください。
- バッテリー残量が十分であっても、本体に異常がある場合は、電源ボタンが点滅します。「使用上のご注意」をお読みのうえ、修理受付窓口にお問い合わせください。
- AC アダプター（電源コード）を接続しても、使用状況や、環境によりバッテリーが充電できない場合は、バッテリー充電インジケーターが点滅します。充電推奨温度範囲で使用しても改善しない場合は、「使用上のご注意」をお読みのうえ、修理受付窓口にお問い合わせください。
- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ、バッテリーの容量は少しずつ低下します。いっばいに充電しても、使用できる時間が極端に短くなったと感じたときはバッテリーの寿命と考えられます。「使用上のご注意」をお読みのうえ、修理受付窓口にお問い合わせください。
- バッテリーの寿命は、保管方法、使用状況や環境によって異なります。

❖ 安全上のご注意

- 液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

— 本機は充電式リチウムイオン電池を内蔵しています。

濡れた状態でUSBプラグおよび電源プラグを挿入すると、本体や充電ケーブルに付着した液体（水道水、海水、清涼飲料水など）や異物によるショートが発生し、異常加熱や故障の原因となります。本体または充電ケーブルが濡れた状態では、USBプラグおよび電源プラグを絶対に挿入しないでください。

商標および登録商標について

- rekordbox™ は、AlphaTheta 株式会社の商標または登録商標です。
- PRO DJ LINK™ は、AlphaTheta 株式会社の商標または登録商標です。
- Mac、macOS、iPadOS および Finder は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH. の商標または登録商標です。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Android は Google LLC の商標です。
- SD ロゴは SD-3C, LLC の商標です。



- SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。



- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。



- Dropbox は、Dropbox Inc. の商標または登録商標です。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

AlphaTheta 株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

その他記載されている商品名、技術名および会社名などは、各社の商標または登録商標です。

MP3 の利用について

本製品は非営利の使用のためのみにライセンスされています。営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは、<http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

著作権

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2023 AlphaTheta 株式会社 禁無断転載
<DRJ1098-B>